



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）				
	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定例の上牧町歯科保健会議（年1回）、上牧町医師会会議（年1回）については、令和2年度と同様に書面報告となりましたが、情報共有や説明は実施できました。また、年1回の定例会議とは別に、新型コロナウイルスワクチン接種対策のための会議を随時開催し、円滑なワクチン接種のため、連携を図りました。会議で実施方法や実施体制等について具体的な討議を重ねたことで接種日当日も滞りなく実施できました。</p> <p>町医による健康講座の開催（1回）・ペガサスフェスタは中止となりました。</p> <p>健（検）診について、前年度の経験を活かして消毒や換気、事前問診及び計測の実施による健（検）診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定、一方の通路設定などを確実に実施できるように、事前の計画を行いました。計画立案にあたり、医師会にも協力を求め相談しました。事前に綿密な連携を図ったことで、健（検）診当日は、安全に滞りなく実施することができました。</p> <p>健（検）診の実施回数についても感染状況を考慮しながら予定通りの回数（3・10か月児健診：8回、1歳8か月児健診：5回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：6回）（集団検診：秋14回、冬2回）を問題なく実施できました。しかし、乳幼児健康診査の受診率については、濃厚接触者に該当したことや感染したことを理由に、やむを得ず受診ができない対象者が前年度に比べて増加したため、受診率が低下したと考えられます。2歳歯科においては、前年度実施できなかったフッ素塗布を歯科医師会と協議し感染拡大防止に配慮して実施することができました。しかし、飛沫による感染リスクが高い歯垢染色とブラッシング指導については中止しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。					
		【健診受診率】 (単位：%)			
		H30	R01	R02	R03
3か月児健康診査		98.4	96.5	94.6	90.2
10か月児健康診査		94.3	97.2	97.6	95.7
1歳8か月児健康診査		92.2	95.9	91.7	97.2
3歳児健康診査		88.8	94.3	88.2	83.6
2歳歯科検診		78.0	77.5	77.7	69.3
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある	
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら乳幼児健診、各種検診等実施や、上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、引き続き町内医療機関との連携を実施していく必要があります。</p> <p>乳幼児健康診査は成長発達等について異常の早期発見の場となるだけでなく、妊娠期から継続して育児の悩みや不安を訴えられる場としてのニーズがあり、受診を遅らせないよう勧奨する必要があります。</p> <p>町民全体の健康意識を高め、予防に取り組むことができるまちづくりを推進するために、健康講座の開催や予防接種、各種検診等で町医師会、歯科医師会、その他関係機関との協力連携が必要不可欠です。</p> <p>新型コロナワクチン感染拡大防止のため、ワクチン接種の実施についても医師会と連携を図り、感染対策を講じて安全な実施を検討していく必要があります。</p>				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない	
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>乳幼児健康診査の受診率の低下に対して、日常生活での感染対策を呼びかけながら、安心・安全に受診できるように再度方法を検討し、受診勧奨を行う必要があります。また、乳幼児健康診査等は発達にも大きく関わるため、コロナ禍での受診控えへの対策を行い、適切な時期に受診してもらうように周知していく必要があります。乳幼児健診、各種検診等の実施や、上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、引き続き連携会議や連絡・相談等を随時実施していく必要があります。</p> <p>新型コロナワクチン接種のスムーズな実施に向けて、医師会と実施体制の改善を行っていく必要があります。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防対策（3密を回避した健診の実施として、消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による検診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定等）を医師会等関係機関と連携を図りながら取り組みます。コロナ禍においても安心・安全に乳幼児健診を受診できるよう対策を講じ、受診勧奨を行います。また、適切な時期に乳幼児健診や各種検診等を受診してもらうために、受診を遅らせない対策を検討していきます。</p> <p>新型コロナワクチン接種の円滑な実施に向けて、医師会と適宜連携を図り新型コロナワクチン接種の推進や実施体制の見直しを行います。</p>				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー			
		基本施策	① 保健			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 医療機関との連携強化			
	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防対策（3密を回避した健診及び事業の実施として、消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による検診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定、人数の制限等）を医師会等関係機関と連携を図りながら、乳幼児健診、各種検診等の実施及び上牧町第2次健康増進計画を推進します。また、日常生活における感染対策の呼びかけや、予防接種や乳幼児健診、各種検診等の受診控えのないように呼びかけを行います。</p> <p>感染状況に応じて、医師会・歯科医師会との会議や町医師による町民向けの講演会を開催します。</p> <p>医師会と連携し、住民が安心して新型コロナワクチン接種を受けられる体制を作ります。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じたワクチン接種の実施（会場設置・人員配置）</p> <p>②希望する住民が、早期にワクチン接種を受けられるための日程・人数の調整</p> <p>上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画については、令和3年度の間評価によって挙げられた課題に対する対策に取り組みます。</p>					
	指標（予定）	KPI	乳児健診受診率	95%		
	KPI	幼児健診受診率	92%			
	—					

# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり
	基本施策	① 保健
	施策の展開方向	② 健康上牧21計画の推進
目指す姿	タイトル	健康づくりを促進するまち
	健康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができるまちを目指します。	
想定される取組	【健康上牧21計画の推進】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	健康上牧21計画の大目標「夢とコミュニケーションいっぱいの上牧町」を目指して、住民ボランティアとともに子どもから高齢者まで幅広い世代の健康づくりを推進します。また、平成30年3月に策定した「第2次健康増進計画・食育推進計画」が5年経過することに伴い、見直しを行い改定します。
	内容	高齢グループは、交通安全講習と健康講座、高齢者体力測定、高齢者の集いを実施します。成人グループは、年数回のウォーキング、年1回のささゆりウォーク、年2回のウォーキングや筋力トレーニング等に関する講演会を実施します。子どもグループは、年2回のささゆり通信の発行、年2回の子どもサロンの開催、ペガサスフェスタにおいて声かけ啓発活動を行います。各グループにおける事業の実施に関しては、新型コロナウイルスの感染状況をみながら感染対策を行い、感染状況によっては、実施時期の考慮・見直しを随時行います。 第2次健康増進計画・食育推進計画については、目標に対する評価や取組の評価を行い、今後5年間に取り組むべき課題や方向性を明確にします。
総合戦略の取組		

## 2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）	
事業費	高齢グループ補助金	105	100	100	29	80	
		105	100	100	29	0	
	成人グループ補助金	43	14	45	52	80	
		43	14	45	52	0	
	子どもグループ補助金	70	70	70	82	80	
		70	70	70	82	80	
第2次健康増進計画・食育推進計画中間評価支援業務委託料	0	0	0	0	3,839		
	0	0	0	0	2,541		
合計	(R03時点)	218	184	215	163	4,079	5年間累計 4,859
	(R04時点)	218	184	215	163	2,621	5年間累計 3,401

令和3年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高齢グループ・成人グループは予定していた事業がすべて、中止となり子どもグループは子どもサロンを1回中止したため活動内容が縮小されました。

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

## ●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
独自 高齢グループ事業の参加人数(延べ)	—	人	—	21	80 0	80	500
独自 成人グループ事業の参加人数(延べ)	—	人	—	29	50 0	50	150
独自 子どもグループ事業の参加人数(延べ)	—	人	—	38	40 14	40	50

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、高齢グループは全事業が中止、成人グループは1回のグループ内交流のみ、子どもグループは子どもサロンが1回中止となったため、目標を大きく下回る結果となりました。また、3グループで交流についても、昨年度に引き続きベガサフェスタも中止になったことや、親睦会が開催できなかったため連携を深めることができませんでした。高齢グループ・成人グループについては、事業の中止に伴い、補助金の全額返金を行いました。</p> <p>第2次健康増進計画・食育推進計画については、住民2,500人を対象に令和3年6月から7月に「上牧町健康づくりアンケート調査」を実施し、調査結果を計画策定に反映しました。また、本計画に対する住民の意見を募集するために令和3年12月にパブリックコメントを実施、令和4年1月に「上牧町民健康づくり推進協議会」を開催しました。アンケート調査の結果を踏まえ食育推進のために減塩・野菜摂取・バランス食について広報や給食だよりに掲載、各種教室、スーパーで普及活動を実施し、食育推進計画の目標設定の参考にしました。</p>			
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
				
事業の見直し余地(改善点)	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症に留意しながら、住民一人ひとりが健康寿命の延伸を図るために楽しみながら、引き続き「夢とコミュニケーションいっぱいの上牧町」を目指して取り組んでいける環境づくりが必要であると考えます。</p>			
今後の方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら活動計画を立て、取り組んでいく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容(改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 健康上牧21計画のボランティアグループ及び食生活改善推進員の取組について、令和4年度も新型コロナウイルス感染症に留意しながら活動の見直しを随時行います。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続(名称変更) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	① 保健		
令和4年度実施予定(改善内容を踏まえて記載してください。)	施策の展開方向	② 健康上牧21計画の推進			
	指標(予定)	KPI	「健康上牧21計画」事業の参加者数(年間)	170人	
		—			
—					
—					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>新型コロナウイルス感染症による影響で事業が縮小され、健康上牧21計画のうち高齢グループは全事業中止、成人グループは実行委員によるウォーキングコースの下見が1回、子どもグループは子どもサロンが1回の開催となりました。しかし、子どもグループの新規実行委員が加入され、ボランティアに対する意識は高まってきていると考えられます。</p> <p>がん予防推進員については、10月に集団がん検診の受診勧奨について依頼文を送付、1月にフォローアップ講習実施予定でしたが、実施直前で新型コロナウイルス感染拡大が見られたためやむなく中止となりました。</p> <p>食生活推進員の活動についても、新型コロナウイルス感染拡大により事業が縮小されましたが、定例会12回（204人）、親子料理教室1回（13人）、男性料理教室2回（24人）、シニアカフェ1回（28人）、みそ作り1回（7人）、歩こう会7回（36人）を実施しました。活動回数合計は24回（延べ312人）でした。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	<p>令和3年度健康上牧21計画各グループの実行委員の人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもグループ 13人</li> <li>・成人グループ 15人</li> <li>・高齢グループ 13人</li> </ul> <p>令和3年度がん予防推進員登録者数 30人</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	<p>新型コロナウイルス感染症により生活が制限されている中でも感染対策を行いながら、健康に対する意識を高めるために町民が主体となり、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができるまちを目指すために、活動の促進が必要です。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、ボランティア活動や人材育成が自粛される状況ですが、今後も感染の動向をみながら、活動について随時検討を行っていきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ボランティア活動や人材育成が自粛されています。令和4年度も感染の動向をみながら、活動について随時検討を行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー		
		基本施策	① 保健		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ マンパワーの確保と人材発掘・育成			
	指標（予定）	KPI	「健康上牧21計画」の実行委員の活動人数（年間）	200人	
		—			
		—			
—					

# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり
	基本施策	① 保健
	施策の展開方向	④ 保健事業の充実
目指す姿	タイトル	健康づくりを促進するまち
	健康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができるまちを目指します。	
想定される取組	【受診率向上に向けた情報発信】【受診対象者へ個人通知等のアプローチの推進】【ヘルシー教室の充実】【乳幼児健診後の支援の充実】【成人期から高齢期までの健康づくりの支援の充実】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	受診率向上に向けた取組（住民保険課と合同）として保健事業の健診・検診受診者にポイントを付与することにより、健康寿命の延伸の実現を目指し、町民一人ひとりが目標を持つことにより健康づくりへの関心を高め、生活習慣病予防を推進します。
	内容	子宮がん・乳がん検診前には、はがきによる個別受診勧奨を行います。令和3年度に41歳に達する方に乳がん検診の無料クーポン券を発行、21歳に達する方に子宮頸がん検診の無料クーポン券を発行します。大腸がん検診に関しては、40～60歳の5歳刻みの方に個別受診勧奨を行います。令和3年から新たに20歳以上の方に集団骨密度検診（年2回）を実施するため、他の集団検診と同時間（全戸配布等）を行います。 集団健診では、特定健診とがん検診の同時実施日、レディースデーを設定し利便性を図ります。 講演会や生活習慣病関係の教室を開催し、教室終了後も自主グループをつくり健康づくりの意識を高め、健康的な生活習慣の定着の支援を行います。 がん予防推進員に対し、フォローアップ講座を実施し、がん検診の啓発・勧奨を推進してもらいます。 以下①～⑤の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、安心・安全に検（健）診を実施していきます。 ①検診時期を検討②検診回数を増加③受付時間を細かく分ける④検診会場の配置を検討し、会場内の人数を制限⑤検診申込は密を避けるため基本的に電話で実施します。 ほほえみ教室では、小集団の中で個々に合わせた成長を促していきます。
総合戦略の取組	13. ほほえみ教室の開催	

## 2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）	
事業費	女性のがん検診（乳がん・子宮がん）	2,577	4,001	4,945	4,747	6,063	
		2,577	4,001	4,945	4,747	4,539	
	胃がん検診	917	1,601	2,137	1,679	2,404	
		917	1,601	2,137	1,679	2,320	
	大腸がん検診	2,564	1,806	1,712	1,627	1,904	
		2,564	1,806	1,712	1,627	1,668	
	肺がん検診	563	495	767	791	750	
563		495	767	791	728		
その他の検診・教室関係	2,016	2,334	1,493	1,830	2,916		
	2,016	2,334	1,493	1,830	1,661		
合計	(R03時点)	8,637	10,237	11,054	10,674	14,037	5年間累計 54,639
	(R04時点)	8,637	10,237	11,054	10,674	10,916	5年間累計 51,518
令和3年度実施結果	実施状況	①計画通りに実施した					
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）						

### ●KPIの状況

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

成果指標名	指標の説明 （算定根拠・方法）	単位	H27 （2015年） 【基準値】	R02 （2020年）	R03 （2021年）	R03 （2021年） 【目標値】	R08 （2026年） 【最終目標値】	
				実績値	目標値			
					実績値			
KPI	胃がん検診受診率	【40歳以上の男女】	%	(4.4)	2.2 (4.1)	2.6 (5.0) 2.7 (4.9)	2.6 (5.0)	3.6 (7.0)
KPI	大腸がん検診受診率	【40歳以上の男女】	%	(9.6)	4.6 (8.2)	5.6 (10.0) 4.9 (8.8)	5.6 (10.0)	6.7 (12.0)
KPI	肺がん検診受診率	【40歳以上の男女】	%	(5.1)	3.4 (5.1)	4.6 (7.0) 4.0 (6.1)	4.6 (7.0)	5.3 (8.0)
KPI	子宮がん検診受診率	【20歳以上の女性】	%	(15.4)	9.2 (13.1)	9.7 (17.0) 9.9 (16.7)	9.7 (17.0)	10.8 (19.0)
KPI	乳がん検診受診率	【40才以上の女性】	%	(14.3)	12.7 (16.5)	10.8 (16.0) 13.3 (19.2)	10.8 (16.0)	12.2 (18.0)
独自	ほほえみ教室利用者の満足度	【よく知っている、名前だけ知っている人の割合】	%	—	4.7	4.8 4.6	4.8	4.8

※各種検診の受診率については、総合計画策定時から計算方法が変更となっているため、新しい計算方法で算出した数値に置き換えています。なお、参考として旧計算方法で算出した数値は（ ）書きで表記しています。

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>住民保険課と合同で、けんしんG0ポイント事業を実施し、受診率の向上を図りました。                  令和3年度は新型コロナウイルスワクチン接種事業の円滑な推進のため、秋と冬に実施しました。集団健（検）診は年14日実施し、特定健診とがん検診の同時実施日、レディースデイを設定し利便性の向上とともに密を避けて受診できるように努めました。                  子宮頸がん・乳がん検診前には、はがきによる個別受診勧奨を行いました。また、大腸がん検診に対しては5歳刻みの個別受診勧奨を実施しました。令和3年度から新たに実施した集団骨密度検診についても、LINEやHPを活用し、その他集団検診の申込みの周知・勧奨と同時に、200人の定員で185人の方が受診しました。                  令和3年度は、すべての検診において前年度を上回る結果となっており、胃がん・乳がん・子宮頸がん検診においては目標値を達成しています。                  がん予防推進員の活動については、講演会開催の準備が整っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、やむなく中止となりました。新規養成についても実施できませんでしたが、講演会とともに令和4年度に実施を予定しています。                  ほほ笑み教室参加者の保護者を対象に療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に渡り5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>すべての検診においては前年度を上回る結果となっており、胃がん・乳がん・子宮頸がん検診においては今年度の目標値を達成しています。新型コロナウイルス感染症下での検診実施体制について、町民が安心して検診を受診できるように重点を置いて準備を進めたことが要因の一つと考えられます。集団検診では特に特定健診とがん検診の同時実施日の予約が埋まるのが早く、集団検診での特定健診との同時受診のニーズが高いと考えられます。引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染対策を講じながらがん検診を実施する必要があると考えられます。また、健康長寿の延伸に向け、骨密度検診の関心も高まっています。                  ほほ笑み教室については、発達遅滞が疑われる幼児は発達相談や幼児健診にて毎年複数人おり、早期からの療育支援が必要とされていると考えます。また発達障害をもつ子どもだけでなく、その保護者の子育てを支援していく必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>新型コロナウイルス感染症による各種検診の受診控えが課題となっています。受診率向上に向けて令和3年度の実施状況等を踏まえて、感染対策を徹底し、安心・安全に検診を受けていただけるような実施方法、さらに受診者数の増加につながる勧奨方法を検討していく必要があります。がん予防推進員の新規養成講座を実施し、活動を広げていく必要があります。                  発達相談や幼児健診にて発達が気になる幼児に早期からの療育支援の必要性を伝え、親子が孤立しないよう相談支援の強化、必要に応じて療育支援教室への通級の働きかけを行う必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「引き続き新型コロナウイルスワクチン接種事業の円滑な実施のため、春検診は婦人科検診のみとし、秋冬検診として実施します。県と比較して子宮頸がんによる死亡数が多いという現状から、特定健診とレディース検診の同日実施を設定し、女性が検診を安心して受診しやすいように利便性の向上に配慮します。 がん検診のチラシ配布、がん予防推進員によるがん検診の受診啓発活動等、受診勧奨を実施していきます。 発達の早期支援の必要性を伝えていますが、うまく通級に至らないケースもあります。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級等の支援に至るよう引き続き親子へのきめこまやかな相談を行います。」			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	① 保健		
施策の展開方向		④ 保健事業の充実			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	けんしんG0ポイント事業による受診率の向上を図ります。 子宮がん・乳がん検診前には、はがきによる個別受診勧奨を行います。令和4年度に41歳になる方に乳がん検診の無料クーポン券を、21歳に達する方に子宮頸がん検診の無料クーポン券を発行します。 また、大腸がん検診に関しては、40～60歳の5歳刻みの方に個別受診勧奨を行います。 集団健診では特定健診とがん検診の同時実施日やレディースデイを設けがん検診と婦人科検診を同時に受診できる機会を設け利便性の向上を図ります。骨密度検診の周知を他の集団検診と同時に行い、幅広い年代に勧奨します。 健康寿命の延伸の一助として、健康に関する意識や関心を高めていただくために、講演会や生活習慣病関係の教室を開催し、教室終了後も自主グループをつくり健康づくりの意識を高め、健康的な生活習慣の定着の支援を行います。 がん予防推進員に対し、フォローアップ講座を実施し、ペガサスフェスタや集団検診の機会に啓発・勧奨を推進してもらいます。 以下①～⑤の新型コロナ感染症拡大防止対策を講じて、安心・安全に検（健）診を実施していきます。 ①検診時期を検討②検診回数を増加③受付時間を細かく分ける④検診会場の配置を検討し、会場内の人数を制限⑤検診申込は密を避けるため基本的に電話で実施します。 ほほ笑み教室では個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級等の支援に至るよう引き続き親子へのきめこまやかな相談を行います。				
	指標（予定）	KPI	胃がん検診受診率		2.9%
		KPI	大腸がん検診受診率		5.6%
		KPI	肺がん検診受診率		4.6%
		KPI	乳がん検診受診率		13.6%
		KPI	子宮がん検診受診率		10.0%
		KPI	ほほ笑み教室利用者満足度（5段階評価）		4.8





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																				
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																							
	<p>・特定健診受診率 令和元年度36.2%（県平均33.6%）、令和2年度は34.4%（県平均30.9%）、令和3年度の受診率は、37.8%（県平均33.3%）です。今後も目標値を達成するためにも、健診未受診者対策を行います。</p> <p>・特定保健指導実施率 令和元年度3.4%、令和2年度は48.1%、令和3年度の実施率は、51.6%です。</p> <p>人間ドック等助成 受診に要した費用のうち40,000円を上限として助成しています。助成人数は、令和元年度414人、令和2年度455人、令和3年度は、422人と減少しました。</p> <p>・医療費分析 1人当たり医療費の受診率、1件当たりの医療費は奈良県・同規模団体および国より低い状況ですが、入院は増加傾向です。また、基礎疾患である「高血圧症」「糖尿病」の受診状況は奈良県を超えています。</p> <p>・上牧町けんしん60！ポイント事業 発行率令和元年度11.3%（474人/4184人）、令和2年度7.4%（283人/3824人）、令和3年度9.9%（379人/3746人）</p> <p>・上牧町国民健康保険健康優良世帯表彰 令和元年度11世帯、令和2年度15世帯、令和3年度10世帯</p> <p>・特定保健指導（健診未受診者対策）業務委託 未受診者へ電話、訪問による受診勧奨を実施しました。（電話勧奨対象者496人のうち345人、家庭訪問1,900人のうち1,346人）</p> <p>・ジェネリック医薬品差額通知 先発医薬品を処方したレセプトで、後発医薬品を利用した時に一定額（1剤当たり200円）以上削減効果が望まれる被保険者に年4回送付。令和3年度1,348件 国保事務支援センターから送付します。</p>																							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="4">【特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(単位：%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R01</td> <td>R02</td> <td>R03</td> </tr> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>36.2</td> <td>34.4</td> <td>37.8</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>3.4</td> <td>48.1</td> <td>51.6</td> </tr> </table>					【特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率】							(単位：%)		R01	R02	R03	特定健康診査受診率	36.2	34.4	37.8	特定保健指導実施率	3.4	48.1	51.6
【特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率】																								
			(単位：%)																					
	R01	R02	R03																					
特定健康診査受診率	36.2	34.4	37.8																					
特定保健指導実施率	3.4	48.1	51.6																					
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>集団健診の予約の申し込みが、すぐに定員に達するため、特定健診とがん検診との同時受診のニーズが高いと思われますので、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、感染対策を講じながら特定健診を実施する必要があると考えられます。また、人間ドック等助成事業は、国民健康保険加入者だけでなく後期高齢者被保険者も対象としています。国民健康保険被保険者のみ助成額を令和元年度から令和5年度までの5年間、上限2万円から4万円に増額変更したことにより、人間ドック等を受診するきっかけになっていると考えます。</p>																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上を図り、必要な人に必要な保健指導を実施し、疾病の予防から重症化を防ぎ、医療費の抑制や介護給付費の抑制へ繋げるためには、生き活き対策課との連携の強化が不可欠です。</p>																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 特定健康診査未受診者対策事業実施の効果で受診者数は年々増えています。健診結果に基づき、特定保健指導が必要な人へ確実に実施します。医療費分析においても、一人当たりの医療費は減少傾向に推移していますが、生活習慣病の基礎疾患の受診率が増加傾向であるため、生活習慣改善事業を推進し、糖尿病性腎症重症化予防事業を実施することで生活習慣病の発症、重症化予防を図ります。令和4年度の高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な事業を実施するにあたり、国民健康保険の視点からの地域包括ケアの推進、一体的実施の取組を強化する必要があります。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー		
		基本施策	① 保健		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	⑤ 保健予防活動の充実			
	<p>・特定健診、健康診査、人間ドック等：健診は三方式で行います。</p> <p>①集団健診（保健福祉センターで実施）</p> <p>②個別健診（奈良県内登録医療機関で実施）</p> <p>③人間ドック等による実施（集団検診は町が実施する各種がん検診と同時受診できるように配慮します）</p> <p>・特定保健指導 健診結果から保健指導が必要な方への確実な保健指導を実施します。</p> <p>・医療費分析 医療費適正化対策として、保健事業計画の分析、評価を行い医療給付費の適正化を推進する事業、医療費通知、ジェネリック差額通知を実施します。</p> <p>・上牧町国民健康保険健康優良世帯表彰 前年度中に被保険者全員が療養の給付や支給を受けていない世帯で、特定健診を受診している世帯に対し、商品券を交付します。</p> <p>・国民健康保険の視点から事業の企画・調整、高齢者に対する支援など生き活き対策課と連携して高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業を実施します。</p>				
	指標（予定）	KPI	特定健康診査受診率		35%
		-			



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	●事業の分析（評価の根拠・理由）													
	<p>令和3年6月の1か月間を対象に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を利用している状況調査として、西和6病院（※）および西和7町のケアマネ事業所を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施しました。結果、入院時にケアマネジャーが病院へ提出する情報提供書の提出率は100%でしたが、退院時に病院からケアマネジャーへ連絡をする退院調整率が前年度の92.3%から82.5%へと下落しました。原因として、コロナ禍であることや急な退院となった等の理由が挙げられています。引き続き、退院調整率の高い水準が維持できるよう事業を実施します。また、「あんしんセット」についても、令和3年度からの導入に向けて西和地域7町の医療機関・ケアマネジャーの意見をもとに予定通り作成し、ケアマネジャーを通し住民へ配布しました。</p> <p>「生き生きSNS」では、今年度も引き続き情報提供や意見交換の場として運用しました。事業所登録数は106箇所と据え置きで、新規投稿数40件、事業所コメント数652件となりました。また、予定していた社会資源の閲覧については管理者と打ち合わせを行い、投稿資料の整理等を実施しました。</p> <p>※西和6病院：西和医療センター、ハートランドしぎさん、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院</p>													
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。														
<p>【西和地域6病院からの退院調整率】</p> <table border="1"> <caption>退院調整率の推移</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>退院調整率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30 (12ヶ月)</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>R01 (6ヶ月)</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>R02 (10ヶ月)</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>R03 (6ヶ月)</td> <td>82.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度の1か月間のアンケート調査を基に算出した退院調整率</p>					期間	退院調整率	H30 (12ヶ月)	80.2%	R01 (6ヶ月)	78.5%	R02 (10ヶ月)	92.3%	R03 (6ヶ月)	82.5%
期間	退院調整率													
H30 (12ヶ月)	80.2%													
R01 (6ヶ月)	78.5%													
R02 (10ヶ月)	92.3%													
R03 (6ヶ月)	82.5%													
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境を整備するためには、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供する仕組みづくりが必要となり、医療と介護の連携は引き続き必要になります。</p>													
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>アンケート調査の結果から、入院時情報提供率は引き続き高い水準を維持できそうですが、退院調整率は病院による組織的な対応が必要であることから、退院調整率の見直しを常に実施し、双方が自然と連携強化が図れる環境を構築する必要があります。本事業は西和地域7町で連携して実施しており、問題点の認識を共有し問題点の改善を実施します。</p> <p>また、生き生きSNSについては事業所での必要性を向上させる改善として、社会資源の閲覧サイトとの紐づけ完成させます。</p>													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 西和7町全体での退院調整率の減少の原因の分析を行い、奈良県・保健所・地区医師会等が一堂に会する全体会議で講評を行い改善点を共有します。主に、コロナ禍における連携体制の再構築と医師との連携強化がポイントとなるため、従来のFAXやTELだけにとどまらず、オンライン会議や動画提供等の新たな手段の構築により退院連携率の向上を目指します。			
後期基本計画	移行状況	継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	③ 高齢福祉		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向 ① 地域包括ケアシステムの構築				
	令和4年度では、コロナ禍で入退院連携での問題点や工夫点をケアマネジャーに確認し、病院側へ情報提供を行います。また、例年通り入退院連携状況調査も10月に実施します。事前に調査したコロナ禍における入退院連携での問題点と状況調査に基づく連携率を照らし合わせ、より具体的な問題点を抽出し令和5年3月に医師会、県、保健所等と交え全体会議を実施し課題解決に向けた協議を実施します。 また、生き生きSNS上で社会資源の閲覧が可能となるよう、データのPDF化と閲覧サイトの準備とSNSへの紐づけ作業を上半期で完了し、10月頃から各利用者へ周知します。				
	指標（予定）	独自	入院時情報提供書提出率	90%以上	
	独自	西和6病院における退院調整率	90%以上		
	—				
	—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																				
	<p>妊娠届け出時に認知度アンケートを実施し、知っていると回答した人119名中60名で50.4%でした。不妊治療費助成申請件数は14件、不育治療費助成申請件数は2件であり、令和元年度・令和2年度とほぼ同様の人数でした。5月と2月に広報へ記事を掲載し周知を図りました。また、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示をしました。</p> <p>平成28年度に助成を開始してから、不妊治療費助成申請者から13人、不育症治療費助成申請者から3人の出生がありました。また、令和3年度に不妊・不育治療助成申請者16人のうち5人が妊娠されました。</p>																				
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																				
	【申請件数】	（単位：件）			【何で知ったか】																
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	<table border="1"> <tr><td>広報</td><td>15人</td></tr> <tr><td>ホームページ</td><td>32人</td></tr> <tr><td>子育て支援ガイドブック</td><td>4人</td></tr> <tr><td>ポスター</td><td>0人</td></tr> <tr><td>ぱーぶるママ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>母子手帳アプリ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7人</td></tr> </table>	広報	15人	ホームページ	32人	子育て支援ガイドブック	4人	ポスター	0人	ぱーぶるママ	0人	母子手帳アプリ	0人	その他
広報	15人																				
ホームページ	32人																				
子育て支援ガイドブック	4人																				
ポスター	0人																				
ぱーぶるママ	0人																				
母子手帳アプリ	0人																				
その他	7人																				
		<table border="1"> <tr><td>不妊治療</td><td>3</td><td>8</td><td>9</td><td>15</td><td>15</td><td>14</td></tr> <tr><td>不育治療</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table>			不妊治療	3	8	9	15	15	14	不育治療	1	3	2	1	2	2	<p>助成制度の認知度</p>		
不妊治療	3	8	9	15	15	14															
不育治療	1	3	2	1	2	2															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																	
	評価の根拠及び理由																				
	<p>厚生労働省の発表によると、日本では、夫婦全体の約5.5組に1組の割合で、不妊の検査や治療を受けた（または現在受けている）ことがあると言われています。また、不妊を心配したことがある夫婦は35.0%であり、夫婦全体の約2.9組に1組の割合とされています。また、令和3年から特定不妊治療費助成の所得制限が撤廃されたこともあり、国として、不妊治療に悩む夫婦に対して経済的支援を促進しています。令和4年度からは一般不妊治療の一部が保険適用の対象となるため、一般不妊治療を受けられるかたが増えると予想されます。保険適用となっても、負担額は発生するため経済的支援はニーズが高いと考えられます。</p>																				
今後の方針	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																	
	評価の根拠及び理由																				
	<p>令和4年度から、一般不妊治療が保険適用となるため、治療を希望される方が増加していくことが考えられます。保険適用分・保険適用外分も含め、上牧町では費用助成を継続して実施していきます。今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。</p> <p>不妊治療について助成制度を利用されたかた、相談に来られた方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等の事業内容について検討をしていく必要があります。</p>																				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>制度を知ったきっかけが多かった「ホームページ」や「広報」における周知を継続し、一人でも多く不妊・不育に困っている方にも利用してもらえようとする。令和4年度から、一般不妊治療が保険適用となるため、治療を希望される方が増加していくことが考えられます。今後も個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図ります。</p> <p>不妊治療について助成制度を利用された方、相談に来られた方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等の事業内容について検討をしていく必要があります。</p>			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	② 医療		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 不妊・不育症治療支援			
	<p>令和4年度からは、一般不妊治療が保険適用となりますが、保険適用分・保険適用外分も含め、上牧町では費用助成を継続して実施していきます。申請状況の変化等を分析し、補助金額や助成期間等の事業内容について検討していきます。今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図ります。</p> <p>令和4年度も妊娠届け出時のアンケートを継続して実施します。</p>				
	指標（予定）	KPI	不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）	60%	
		—			
		—			
		—			





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	することが 関係各課との連携・情報共有が定着しました。教育総務課・こども未来課・福祉課等と月2回程度情報共有し、重複給付防止や得喪関係に留意し、適正かつ円滑に医療費助成を実施することができました。			
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 対象者の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、各課と連携し、医療費の一部助成を適正に実施していきます。			
事業の見直し余地 (改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input checked="" type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 当事業は「医療機関を受診した対象者に自己負担額の一部を助成する」内容であるため、引き続き適正に事業を実施します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容 (改善点に対する改善方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
後期 基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー		
		基本施策	② 医療		
令和4年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)	施策の展開方向	① 国民健康保険事業の円滑で安定的な運営			
	医療費助成事業は令和4年度も引き続き適正に行っていきます。				
	指標 (予定)	-			
	-				
	-				
	-				
	-				

# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き生き対策課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括ケア推進係	関連部署			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでとぎめきがうまれるまちづくり—
	基本施策	③ 高齢福祉
	施策の展開方向	① 地域包括ケアシステムの構築
目指す姿	タイトル	高齢になっても安心して住み続けられるまち
		高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを目指します。
想定される取組	【地域包括ケアシステムの構築】 【医療と介護のネットワークづくりのための意見交換会の推進】 【認知症高齢者の見守り事業の充実】 【認知症カフェの推進】 【認知症推進員の増員】 【生活支援サポーター・傾聴ボランティアのさらなる養成】 【地域ケア会議の推進】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるようなまちづくりを目的として、ボランティアの養成・活動支援や認知症施策を実施します。
	内容	<p>【生活支援サポーター】 高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、生活支援サポーターの養成講座を開催するとともに生活支援サポーターの活動支援を継続します。また、新たな担い手の発掘及び支援を必要とする方に活動内容が伝わるような広報記事をボランティアと一緒に作成します。</p> <p>【傾聴ボランティア】 令和3年度は傾聴ボランティアの養成講座は中止し、コロナ禍でも可能な傾聴方法（手紙・電話）で活動を継続できるよう支援します。</p> <p>【地域ケア会議】 介護サービス利用者のケアプランをもとに、自立支援に向けて多職種で支援内容の検討を行う会議を年3回（合計12事例）開催します。また、地域ケア会議の開催が必要な事例が生じた場合は随時開催します。</p> <p>【認知症カフェ（おれんちカフェ）】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮した上で、認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェの開催を検討します。</p> <p>【上牧町高齢者など見守りネットワーク事業】 認知症等により行方不明になる可能性のある方の個人情報を町に登録することで、万が一行方不明になった際になるべく早く自宅に戻れるよう支援します。登録した方には、衣服等に貼って使用するQRコードシール（上限30枚）と専用キーホルダーを配布します。また、企業・団体に協力事業所の登録を呼びかけ、地域全体で認知症の方を見守る体制を構築します。</p>
総合戦略の取組		

## 2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）	
事業費	生活支援サポーター養成事業・活動支援事業	41	60	93	60	95	
	傾聴ボランティア養成事業・活動助成事業	152	159	163	90	80	
	地域ケア会議	87	71	58	35	77	
		87	71	58	35	15	
	認知症カフェ事業	24	84	42	0	48	
	上牧町高齢者等見守りネットワーク事業	24	84	42	0	0	
		0	0	538	0	0	
合計	(R03時点)	304	374	894	185	300	5年間累計 2,057
	(R04時点)	304	374	894	185	59	5年間累計 1,816

令和3年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	<p>【生活支援サポーター】 新型コロナ感染拡大の影響により養成講座の開催を中止しました。</p> <p>【地域ケア会議】 年3回(12事例)定例的に開催する予定だった会議は新型コロナ感染拡大の影響により1回のみ開催となりました。また、関係者間での協議が必要な8事例に関して地域ケア会議を随時開催しました。</p> <p>【認知症カフェ（おれんちカフェ）】 認知症サポーターやキャラバンメイトと共に認知症カフェ開催に向けて開催方法の検討を行う会議を開催する予定でしたが、新型コロナ感染拡大により会議が中止となりました。</p>

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

## ●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI	生活支援サポーター・傾聴ボランティアの人数	人	0	46	40 43	40	50
KPI	認知症カフェ	人	—	0	15 0	15	20
KPI	要介護認定者数	人	1,066	1,275	1,090 1,316	1,090	1,100
KPI	成年後見制度利用支援（町長申立件数）累計	人	7	11	10 11	10	13

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった						
	●事業の分析（評価の根拠・理由）									
	<p>【生活支援サポーター・傾聴ボランティア】 生活支援サポーターは16人の利用者（登録者は52人）に対して延べ144件の困りごと（草刈り、買い物代行、家具の組み立て等）に対応しました。サポーターの中には新型コロナ感染拡大の影響で活動を中止した方もいますが、利用者にとって生活支援サポーターの訪問が人と触れ合う貴重な機会になっている方もおり双方の生きがいがづくりにもつながっています。また、予定通り生活支援サポーターの活動を広く周知するためサポーターが考えた活動紹介記事を広報に掲載したことで、利用者増加につながりました。傾聴ボランティアの活動はコロナ禍のため従来の施設・在宅での傾聴は中止し、ボランティアがイラストを描いた絵手紙にメッセージを書いて郵送する形式に切り替えコロナ禍に合わせた活動内容に変更しました。各養成講座は中止となりましたが、生活支援サポーターと傾聴ボランティアは合計43人となり目標は達成し、コロナ禍でも可能な限り活動を継続しました。</p> <p>【地域ケア会議】 定例的な会議を3回開催する予定でしたが、新型コロナの影響により会議は1回のみ開催となり、合計4事例の検討を多職種で行いました。また、至急検討が必要な8事例に対して合計8回の会議を随時開催しました。</p> <p>【認知症カフェ】 カフェ開催に向けて、認知症サポーター、キャラバンメイトと共に開催方法を協議する予定でしたが、新型コロナの影響で検討会議も中止となりました。</p> <p>【上牧町高齢者等見守りネットワーク事業】 令和3年度は新たに5人の方が申請され、令和3年度末時点で25人の方が登録しています。事前登録した顔写真等が行方不明発生時に役立つケースもあり、認知症の方やご家族が安心して暮らせるまちづくりに役立っています。</p>									
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。										
【上牧町高齢者等見守りネットワーク事業登録者数（各年度末時点人数）】										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	登録者数	R2	19人	R3	25人
年度	登録者数									
R2	19人									
R3	25人									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある						
	評価の根拠及び理由 高齢化の進行や独居高齢者の増加に伴い、介護保険のサービスでは対応できない日常生活の困りごとへの対応のニーズが増加することが予想されます。また、高齢化だけでなくコロナ禍に伴う外出自粛により社会活動の機会が減少することに起因して認知症等のリスクが増加することが危惧されるため、地域全体でお互いがお互いを見守る共助が更に重要になり、各ボランティアの活動や見守りネットワーク事業等の必要性はより増していきと考えられます。									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない						
	評価の根拠及び理由 新型コロナ感染拡大の影響により高齢者施設や居宅で傾聴を行うという本来の活動ができないためお手紙を傾聴希望者に送付するという形式に切り替えて活動を継続していましたが、コロナ禍が予想以上に長期にわたっていることから今後の活動方針やボランティアのモチベーション維持も含めて改めて検討する必要があります。 また、認知症のかたが安心して暮らせるよう、感染対策を講じた上での認知症カフェ開催の検討や認知症への正しい理解を周知するため認知症サポーターの登録者数の増加を図る必要があります。									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 傾聴ボランティアによるお手紙の送付を中止し、令和4年度は傾聴活動に関する研修会を通して傾聴ボランティア自身のモチベーションアップやスキルアップを図ります。 認知症カフェに関しては、令和3年度実施できなかった認知症サポーター・キャラバンメイトを交えての会議を開催し、感染対策を講じた上でのカフェ開催に向けて検討を行います。また、キャラバンメイトを中心として認知症サポーター養成講座を開催しサポーターの増加を図ります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	③ 高齢福祉		
施策の展開方向		① 地域包括ケアシステムの構築			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【生活支援サポーター】 高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、生活支援サポーターの養成講座を開催するとともに生活支援サポーターの活動支援を継続します。</p> <p>【傾聴ボランティア】 新型コロナの影響で従来の傾聴活動が困難なため、令和4年度は活動に関する研修の開催を通してボランティアのモチベーションアップを図ります。また、高齢者施設での面会が可能になった時点で従来の施設や居宅での傾聴活動を再開します。</p> <p>【地域ケア会議】 介護サービス利用者のケアプランをもとに、自立支援に向けて多職種で支援内容の検討を行う会議を年3回（合計12事例）開催します。また、地域ケア会議の開催が必要な事例が生じた場合は随時開催します。</p> <p>【認知症カフェ（おれんちカフェ）】 新型コロナウィルスの感染状況を考慮した上で、認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェの開催を検討します。</p> <p>【認知症サポーター】 キャラバンメイトが認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターの増加を図ります。</p> <p>【上牧町高齢者など見守りネットワーク事業】 認知症等により行方不明になる可能性のある方の個人情報などを町に登録することで、万が一行方不明になった際になるべく早く自宅に戻れるよう支援します。登録した方には、衣服等に貼って使用する二次元バーコードシール（上限30枚）と専用キーホルダーを配布します。また、企業・団体に協力事業所の登録を呼びかけ、地域全体で認知症の方を見守る体制を構築します。</p>				
	指標（予定）	KPI	傾聴ボランティア登録者数	20人	
		KPI	生活支援サポーター登録者数	25人	
		KPI	認知症サポーター登録者数	1380人	





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）				
	<p>○シルバークラブ連合会 事務局として、打ち合わせ会議への参加や事業実施の補助を行い、運営に関する支援を行いました。 [シルバークラブ連合会事業実績] 毎年春に実施している会長杯グラウンドゴルフですが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、11月23日に実施しました。 町長杯のグラウンドゴルフ、さわやか旅行、ウォークラリーやフロアカーリング、文化祭への作品展示は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、事業を中止しました。</p> <p>○シルバー人材センター 草刈り、清掃作業、マイクロバスの運転、ラスパ西大和店でのコートの整理、介護施設でのシーツ交換や清掃、広報やチラシ等の配布、一般家庭での家事援助等、幅広く活動の場が増えました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。					
【シルバークラブ連合会事業参加者数】 <span style="float: right;">（単位：人）</span>					
		H30	R01	R02	R03
会長杯のグラウンドゴルフ		87	78	82	108
町長杯のグラウンドゴルフ		102	93	中止	中止
さわやか旅行		114	99	中止	中止
ウォークラリー		119	116	中止	中止
フロアカーリング（上牧第一町民体育館）		117	105	中止	中止
フロアカーリング（上牧第二小学校）		75	85	中止	中止
フロアカーリング（上牧第三小学校）		124	107	中止	中止
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある	
	評価の根拠及び理由 今後ますます高齢化率が高まるにつれ、高齢者の単身世帯や老々世帯が増加することが予想され、高齢者の生きがいづくりの場のニーズはより高くなります。地域での支え合いや集いの場の確保は今後さらに必要になります。				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない	
	評価の根拠及び理由 シルバークラブ連合会の事業については、参加者の固定化が見られます。支援の方法や集いの場への参加促進について、今後も継続してシルバークラブ連合会と協議を進めながら、高齢者同士のつながりを維持する活動内容を検討する必要があります。シルバークラブ連合会未組織の地区に対し、立ち上げに向けての働きかけを今後も行います。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） シルバークラブ連合会の事業については、参加者の固定化が見られるため、支援の方法や集いの場への参加促進について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を検討しながら、高齢者同士のつながりを維持する活動を推進します。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり		
		基本施策	③ 高齢福祉		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 高齢者の生きがいづくり			
	指標（予定）	KPI	シルバークラブ設置地区数	18地区	
		KPI	シルバー人材センター会員数	300人	
		-			
-					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった			
	●事業の分析（評価の根拠・理由）				
	友愛活動では各地域で令和2年度と同じ、合計17チームが介護予防を目的に活動を行いました。新型コロナウイルス感染拡大により活動内容は制限されましたが、感染対策をしつつ訪問・声かけを実施するなど可能な範囲で活動しました。令和2年度に友愛活動本部で購入したスカットボールが高齢者の方に好評で、各地域での活動へと広がりました。また令和3年度は新たに「ポッチャ」「バードウォッチングの会」の活動も始めました。その他、手作りマスクを製作や配布、要配慮者への訪問活動を実施するなど、少しずつ従来の活動を取り戻しつつあります。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。					
友愛活動数及びチーム数					
		H30	R01	R02	R03
友愛活動数		78	80	40	53
友愛活動チーム数		18	18	17	17
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある			
	評価の根拠及び理由				
	高齢者の増加に伴い、今後さらに独居高齢者や高齢者世帯が増加していくため、高齢者の生きがいづくりの場や地域での支え合いのニーズはより高まると考えられます。				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない			
	評価の根拠及び理由				
	友愛活動の多くが1か所に集い会話をすることで見守り活動や住民同士のつながりを維持していましたが、昨年度同様コロナ禍では難しい状況が考えられます。新型コロナウイルスの感染リスクを抑えつつ、高齢者同士のつながりを維持することが可能な活動内容について検討が必要です。また、社会とのつながりが希薄になりつつある高齢者の把握を行うことが課題です。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 引き続き、感染対策のため少人数での活動内容に変更するにあたり、5人程度の少人数で行える活動を実施します。また、友愛訪問活動チームを一部細分化し、各地区が1チームがフォローする範囲を狭くすることで、友愛訪問活動チームの目が行き届くようにします。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—	
		基本施策	③ 高齢福祉	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 高齢者の生きがいづくり		
	【高齢者のサロン活動（友愛訪問活動）】 要フォロー高齢者世帯への訪問活動を継続するとともに、少数単位で活動可能なスカットボール等のレクリエーション活動の実施や、外出を伴う趣味の集まりの実施を行います。また、チーム員の増員や必要な細分化、友愛活動未実施の地区への参加呼びかけを行い、より活動の場を拡充できるようにします。			
	指標（予定）	独自	友愛訪問活動チーム数	20チーム
	—			
	—			
	—			

# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括ケア推進係	関連部局			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—
	基本施策	③ 高齢福祉
	施策の展開方向	③ 介護予防の推進
目指す姿	タイトル	高齢になっても安心して住み続けられるまち
		高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを目指します。
想定される取組	【各予防教室の継続】【各予防教室への参加呼びかけ】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	健康寿命の延伸や認知症予防等になる通いの場の提供、住民主体の活動を支援することで、健康で生きがいを持った生活が送れるよう事業を実施します。
	内容	<p>【ときめきクラブ・ためトレほほ笑いクラブ】</p> <p>養成講座を修了した指導者が中心となり、ときめきクラブでは週1回全13箇所の公民館等で、ストレッチ等を行う体操教室を実施します。令和3年度は新たに4教室を住民主体の自主運営へと切り替え、13教室中9教室が自主運営となりますが、安定した教室運営や参加者の確保ができるよう引き続き実施団体と協力して教室運営を行います。ためトレほほ笑いクラブでは、週1回片岡台3丁目でストレッチや筋トレ等を行う教室を開催します。</p> <p>【ハッピーライフ教室】</p> <p>全8回の運動習慣をつけるための体操が主となる内容と、口腔機能向上の講座1回を組み合わせた1クールあたり全9回の教室を合計3クール開催します。</p> <p>【お口の教室】</p> <p>コロナ禍に伴う外出自粛による影響で口腔機能の低下のリスクが増大しているため、令和3年度は教室単体で開催するのではなく、他の介護予防教室に口腔機能向上の講座を組み合わせる形式に変更し、口腔機能向上の重要性をより広く周知していきます。</p> <p>【脳の健康教室】</p> <p>認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、簡単な読み書き・計算(楽習)を行う半年間全24回の教室を実施します。楽習に加え、体操・認知症予防レクリエーション・口腔機能向上講座・折り紙教室等を織り交ぜ様々な視点から認知症・介護予防を啓発します。</p> <p>【高齢者介護予防サロン支援事業】</p> <p>令和3年度も地域で活動している対象団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行い介護予防の促進を図ります。</p> <p>【高齢者教室】</p> <p>月2回程度、全8教室(民謡、コーラス、華道茶道、水墨画、ちぎり絵、民踊、輪踊り、フォークダンス)を開催します。コロナ禍により感染リスクの高いコーラス教室は令和2年度に引き続き中止します。</p>
総合戦略の取組		

## 2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29(決算)	H30(決算)	R01(決算)	R02(決算)	R03(決算)		
事業費	ときめきクラブ	1,344	1,499	1,584	839	692		
		1,344	1,499	1,584	839	692		
	ためトレほほ笑いクラブ	159	116	196	196	196		
		159	116	196	196	196		
	脳の健康教室	1,834	1,325	1,428	616	869		
		1,834	1,325	1,428	616	632		
	ハッピーライフ教室	779	783	914	920	920		
		779	783	914	920	886		
	お口の教室	171	171	327	218	0		
		171	171	327	218	0		
高齢者介護予防サロン支援事業	743	900	920	831	1,209			
	743	900	920	831	1,026			
高齢者教室	648	648	605	390	648			
	648	648	605	390	462			
合計	(R03時点)	4,116	3,723	4,122	2,571	2,677	5年間累計	17,209
	(R04時点)	4,116	3,723	4,122	2,571	2,406	5年間累計	16,938
令和3年度実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した						
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	新型コロナウイルス感染症の再拡大により、運動習慣教室に組み合わせていた口腔機能向上講座および高齢者教室の一部を中止することがありました。その他の事業は予定通り実施しました。						

※「R03(決算)」は検証時点では決算見込み

## ●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI	ときめきクラブ【体操教室】の設置数	教室	6	13	9 13	9	10

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>【ときめきクラブ】                  コロナ禍でありながらも、体操を通じて健康寿命を延伸することの重要性を考慮し、十分な感染対策を講じた上で予定通り町内13箇所の教室を開講しました。一定数の方が感染予防のため不参加となりました。参加延べ人数は令和2年度2,223人に対し、令和3年度は5,740人が参加されました。</p> <p>【ためトレほほ笑みクラブ】                  感染状況に応じて教室を中止した時期もありましたが、感染対策を講じた上で教室を開催し延べ328人の方が参加しました。</p> <p>【ハッピーライフ教室】                  計画通り年3クールの教室を行い、延べ参加者数は149人(3クール)でした。感染が再拡大した3クール目は出席を見合わせる参加者が目立ちました。1クール目・2クール目は口腔機能向上教室を組み合わせ実施しました。</p> <p>【お口の教室】                  他の介護予防事業に組み合わせる形式で3回実施し、合計46人の方が講座を受講しました。オーラルフレイル予防は他の体操等の介護予防と比較すると関心が得られにくいテーマですが、人気のある体操教室と組み合わせ実施したことで多くの方に関心を持ってもらう機会となり、参加者からは好評を得ることができました。また、自宅で継続的にオーラルフレイル対策に取り組めるよう作成した口腔体操等の内容を盛り込んだDVDをR4年3月末までに85枚配布しました。</p> <p>【脳健康教室】                  認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、簡単な読み書き・計算(楽習)を行う半年間全24回の教室を実施し、延べ参加者数は463人でした。楽習に加え、体操・認知症予防レクリエーション・口腔機能向上講座・折り紙教室等を織り交ぜ様々な視点から認知症・介護予防を啓発しました。教室の実施にあたっては参加者のサポートをしていただくボランティアとして、16名の方に協力いただきました。</p> <p>【高齢者介護予防サロン支援事業】                  地域で活動している対象団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行い介護予防の促進を図りました。登録団体数50団体のうち48団体が実績報告をされ、2団体がコロナ禍での活動を断念され辞退されました。</p> <p>【高齢者教室】                  コーラス教室を除く、全8教室(民謡、華道、茶道、水墨画、ちぎり絵、民踊、輪踊り、フォークダンス)を開催しました。感染が拡大していた時期は一部の教室を中止しました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 コロナ禍であっても健康維持や社会とのつながりを持つ意味で、通いの場は非常に重要です。年齢とともに体力低下や社会性の低下などのフレイル(虚弱)のリスクが高くなるため、介護予防の啓発や教室の実施を通して運動習慣の定着や社会参加を図る必要があります。			
事業の見直し余地(改善点)	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地があまりすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 コロナ禍であっても体操教室や脳の健康教室のニーズは高く、コロナ感染対策による参加できない方を少しでも減らすための事業展開を検討する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容(改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) 【ときめきクラブ】より多くの方が介護予防に取り組めるよう、教室数のさらなる増加に向けて協議を行います。 【脳健康教室】感染対策のため制限していた教室定員数の見直しも含め、社会情勢に合わせ制限緩和に向けた協議を行い、参加者を少しでも多くし事業の実施を検討します。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続(名称変更) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー	
		基本施策	③ 高齢福祉	
令和4年度実施予定(改善内容を踏まえて記載してください。)	施策の展開方向	③ 介護予防の推進		
	<p>【ときめきクラブ】                  養成講座を修了した指導者が中心となって、新規開講する3か所を加えた全16か所の公民館等で週1回ストレッチ等を行う体操教室を実施します。令和4年度は新たに2教室を住民主体の自主運営へと切り替え、合計11教室が自主運営となりますが、安定した教室運営や参加者の確保ができるよう引き続き実施団体と協力して教室運営を行います。</p> <p>【ためトレほほ笑みクラブ】                  養成講座を修了した指導者が、週1回片岡台3丁目でストレッチや筋トレ等を行う教室を開催します。</p> <p>【ハッピーライフ教室】                  1クール全8回の運動習慣をつけるための教室を合計3クール開催します。</p> <p>【脳健康教室】                  認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、簡単な読み書き・計算(楽習)を行う半年間全24回の教室を実施します。令和4年度は定員を8人増加した合計30人とする予定です。楽習に加え、体操・認知症予防レクリエーション・口腔機能向上講座・折り紙教室等を織り交ぜ様々な視点から認知症・介護予防を啓発します。</p> <p>【高齢者介護予防サロン支援事業】                  令和4年度も地域で活動している対象団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行い介護予防の促進を図ります。</p> <p>【高齢者教室】                  月2回程度、全8教室(民謡、華道、茶道、水墨画、ちぎり絵、民踊、輪踊り、フォークダンス)を開催します。コロナ禍により感染リスクの高いコーラス教室は令和4年度も引き続き中止します。</p> <p>【要介護認定者率】                  介護予防に資する取り組みを実施し、要介護状態に至るまでの期間を延伸する。</p>			
指標(予定)	KPI	地域体操教室数	16教室	
	KPI	脳の健康教室参加延べ人数(年間)	500人	
	KPI	ハッピーライフ教室参加延べ人数	200人	
	KPI	要介護認定者率	18.80%	





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>生活支援サポーターは16人の利用者（登録者は52人）に対して延べ144件の困りごと（草刈り、買い物代行、家具の組み立て等）に対応しました。サポーターの中には新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動を中止した方もいますが、利用者にとって生活支援サポーターの訪問が人と触れ合う貴重な機会になっている方もおり双方の生きがいがいづくりにもつながっています。また、予定通り生活支援サポーターの活動を広く周知するためサポーターが考えた活動紹介記事を広報に掲載したことで、利用者増加につながりました。</p> <p>傾聴ボランティアの活動はコロナ禍のため従来の施設・在宅での傾聴は中止し、ボランティアがイラストを描いた絵手紙にメッセージを書いて郵送する形式に切り替えコロナ禍に合わせた活動内容に変更しました。</p> <p>各養成講座は中止となりましたが、生活支援サポーターと傾聴ボランティアは合計43人となり目標は達成し、コロナ禍でも可能な限り活動を継続しました。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化の進行や独居高齢者の増加に伴い、介護保険のサービスでは対応できない日常生活の困りごとへの対応のニーズが増加することが予想されます。また、高齢化だけでなくコロナ禍に伴う外出自粛により社会活動の機会が減少することに起因して認知症等のリスクが増加することが危惧されるため、地域全体でお互いがお互いを見守る共助が更に重要になり、各ボランティアの活動の必要性はより増していくと考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により高齢者施設や居宅で傾聴を行うという本来の活動ができないためお手紙を傾聴希望者に送付するという形式に切り替えて活動を継続していましたが、コロナ禍が予想以上に長期にわたっていることから今後の活動方針やボランティアのモチベーション維持も含めて改めて検討する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 傾聴ボランティアによるお手紙の送付を中止し、令和4年度は傾聴活動に関わる研修会を通して傾聴ボランティア自身のモチベーションアップやスキルアップを図ります。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—	
		基本施策	③ 高齢福祉	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 地域包括ケアシステムの構築		
	<p>【生活支援サポーター】 高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、生活支援サポーターの養成講座を開催するとともに生活支援サポーターの活動支援を継続します。</p> <p>【傾聴ボランティア】 新型コロナウイルスの影響で従来の傾聴活動が困難なため、令和4年度は活動に関わる研修の開催を通してボランティアのモチベーションアップを図ります。また、高齢者施設での面会が可能になった時点で従来の施設や居宅での傾聴活動を再開します。</p>			
	指標（予定）	KPI	傾聴ボランティア登録者数	20人
		KPI	生活支援サポーター登録者数	25人
		—		
—				

# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	こども総合相談係・こども支援係	関連部局			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー		
	基本施策	④ 子育て支援		
	施策の展開方向	① 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援		
目指す姿	タイトル	子どもたちの笑顔でいっぱいの子		
		地域と行政の協働や町民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、上牧町で子どもを産み育て続けたいと思えるまちを目指します。		
想定される取組	【婚活イベントの企画・実施】【結婚希望者相談窓口の設置】【ワンストップ相談窓口の設置】【マタニティ教室の開催】【乳児・幼児健診の実施】【新米ママへの訪問カウンセリングの拡充】【子育て支援情報の発信】【母子健康手帳発行時の保健師による全般面接】【マリッジサポーターの募集・育成】			
令和3年度実施予定	趣旨目的	少子化、晩婚化に歯止めをかけるため、結婚の推進に理解と意欲を有する者をマリッジサポーターに認定登録し、独身男女の結婚に向けた活動を支援することで成婚につなげ、人口減少を抑制していくことを目指します。 妊娠生活の中で不安や悩みが解消され、産後は赤ちゃんの健やかな成長と楽しい子育て育児ができるように支援します。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会い・結婚・子育て応援事業</li> <li>①ZOOMを利用したオンライン婚活セミナーやオンライン婚活イベントを実施</li> <li>②結婚相談会の実施：毎月1回、奇数月第4木曜日、偶数月第3土曜日</li> <li>③マリッジサポーターの育成及び新規募集</li> <li>④マリッジサポーターに対してオンラインを活用するための研修</li> <li>⑤独立したマリッジ支援団体として活動するための自立に向けた指導・助言</li> <li>・プレバママ教室の開催</li> <li>プレバママ教室を月1回開催します。A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワーク等 B日程：分娩の話、母乳育児等（日程：産後の話、育児体験等</li> <li>・子育て世代への訪問型個別支援の拡充</li> <li>子育て世代包括支援センターが妊娠届出時に全件面接を行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携し継続した訪問・電話等の支援を行います。出産後は赤ちゃん訪問を実施、新生児の発育等の確認や育児等全般に指導・助言をし、子育てに関する情報提供を行います。</li> </ul>		
総合戦略の取組	17. 出会い・結婚応援事業の実施	18. プレバママ教室の開催	21. 子育て世代への訪問型個別支援の拡充	

## 2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）		
事業費	出会い・結婚・子育て応援事業	4,174	3,665	2,188	1,256	2,162		
		4,174	3,665	2,188	1,256	1,969		
	新米ママへの訪問カウンセリング事業	7	24	30	343	401	令和2年度から赤ちゃん訪問記念品が含まれます。	
		7	24	30	343	340		
	マタニティ教室（パパさん教室含む）事業費	28	105	11	111	60	令和3年度から保育士の報酬が含まれます。	
	28	105	11	111	38			
合計	(R03時点)	4,209	3,794	2,229	1,710	2,623	5年間累計	14,565
	(R04時点)	4,209	3,794	2,229	1,710	2,347	5年間累計	14,289
令和3年度実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した						
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	【マタニティ教室の開催】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年12回の教室開催予定でしたが、1月と3月は延期となり、年10回の開催となりました。 【新米ママへの訪問カウンセリングの拡充】助産師と地区担当保健師の2名が訪問を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、状況に応じて1名（助産師）で訪問しました。						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

## ●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】	
				実績値	目標値 実績値			
KPI	結婚支援①	婚活支援	組	—	4	8 5	8	15
KPI	結婚支援②	マリッジサポーター	人	—	15	15 17	15	24
独自	パパの教室参加割合	(パパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%)	%	—	—	22.0 17.4	—	—
独自	プレバママ教室の満足度	教室アンケートによる5段階評価	点	—	—	4.5以上 4.8	—	—

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																			
	<p>・出会い・結婚・子育て応援事業</p> <p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴うイベント等の開催自粛により、初の試みであるZOOMでのイベントを実施しました。また、未婚の子どもを持つ親向けの婚活セミナーを実施しました。（婚活セミナー実施回数：1回 婚活セミナー参加人数：10人 婚活イベント実施回数：2回 婚活イベント参加人数：36人）</p> <p>②マリッジサポーターと協力NPO団体による結婚を考える男女またはその保護者を対象とした相談会を実施しました。（実施回数：13回 相談人数：20名）</p> <p>③マリッジサポーター6期生の募集及び養成講座を11月と3月に行い、新たに2名の方にサポーターになっていただき、合計17名となりより一層の充実を図りました。（養成講座回数：2回 養成講座参加者数：のべ27人）</p> <p>④サポーターの多くがオンライン未経験者だったため、中高年層の方対象のリモート研修を行いました。（研修回数：3回+追加4回 研修参加人数：のべ36人）</p> <p>⑤毎月1回定例会を実施し、その中で独立したマリッジ支援団体になるためにNPO法人について勉強会を行うことで、「NPO法人かんまきマリッジサポート・赤い糸」の設立の為の手続きを行い、令和4年4月1日設立に向けて準備を進めました。</p> <p>・プレバパママ教室の開催</p> <p>妊娠届出時にプレバパママ教室の勧奨を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で年10回の開催となりました。延期になった日程の参加予定の方には、個別での対応（希望に応じて、資料を配布し別日に沐浴体験等）を行いました。</p> <p>参加者延べ人数経年実績：35名（H29）、50名（H30）、47名（R元）、77名（R2）、72名（R3）</p> <p>夫の教室参加割合は目標の22.0%に対し17.4%でした。教室後に実施したアンケートでは、満足度は5段階評価で4.8であり概ね目標の成果が得られました。</p> <p>・子育て世代への訪問型個別支援の拡充</p> <p>令和3年度は、82件（延べ89件）赤ちゃん訪問を実施しました。また赤ちゃん訪問に関するアンケート結果より、訪問者に対する満足度（5段階評価）は4.9であり、目標値の4.5を上回りました。</p>																			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																				
【結婚相談窓口開設曜日と相談件数】		（単位：件）		【マリッジサポーター年度別推移表】（単位：人）																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		H29	H30	R01	R02	R03	
	土	木	土	木	土	木	土	木	祝	木	月	水	土	木	土	木	土	木	土	木
R03	1	3	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	1	20						2
R02	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	2	2	10							1
R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	2	1	2	26							1
															9	14	14	15	17	17

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染症防止対策やICT機器の普及に伴い、オンラインを活用したイベントは今後も増加傾向になると考えられることから、新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、参加体験型ZOOMを活用したイベントや相談会等の結婚支援も行いつつ、サポーターの更なる技術の向上を図ります。 今後も継続してアンケートを実施し、プレバパママ教室の満足度やニーズを把握したり、視覚教材等の媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思っております。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—			
		基本施策	④ 子育て支援			
		施策の展開方向	① 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	マリッジサポーターがNPO法人かんまきマリッジサポート・赤い糸を令和4年4月1日設立に向けての準備を進めていますが、今後は委託契約を締結し、参加体験型ZOOMを活用したイベント（年2回）の開催、個別相談会（月1回）の開催、結婚希望登録者のフォローアップ等を考えています。					
	プレバパママ教室を月1回開催します。A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワーク等 B日程：分娩の話、母乳育児等 C日程：産後の話、育児体験等					
	子育て世代包括支援センターが、妊娠届出時に全件面接を行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携し、継続した訪問・電話等の支援を行います。					
	出産後は赤ちゃん訪問を実施し、新生児の育児等の確認や育児等全般に指導・助言をし、子育てに関する情報提供を行います。母子手帳アプリの周知を図り、登録者数の増加に努めます。					
	指標（予定）	KPI	赤ちゃん訪問実施率			100%
	KPI	出会い結婚応援事業による成婚者数（累計）			8組	
	KPI	プレバパママ教室参加割合			30%	
	KPI	母子健康手帳アプリ登録者数			105名	





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>延長保育、障がい児保育、家庭支援推進保育士の配置等を行い、保育サービスの向上に努めています。相談窓口を事務所に設け、子育てに関する悩みや思い、食事面についての心配等を随時相談できる環境を整えています。また、登所時、降所時に門の前に保育士が立ち、保護者とコミュニケーションを図ることにより保護者が孤立することのないように、信頼関係の構築に努めました。</p> <p>令和3年度は障がい児の入所が9名であり、5名の保育士を加配しました。待機児童を出すこともなく、概ね目標の成果が得られたと考えています。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>保護者と保育士が信頼関係を築き、保護者からの相談事を各関係機関と連携して支援することが重要となります。近年の核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働きやひとり親家庭の増加等を背景に、子育ての悩みを抱える家庭は増加すると考えますので、今後もニーズは増加する傾向にあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>私立保育所において、加配保育士を配置することが困難となっている為、今後も公立保育所に加配を必要とする児童の希望が集中することが予想されます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>全国的に深刻な保育士不足の状況にあり、保育士の増員が困難となっています。現在の保育士数で対応できるよう、県・郡や関係機関が実施する研修に参加し、参加した職員による研修を保育所内で実施する等、保育士一人一人の資質向上に努めます。</p>		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—	
		基本施策	④ 子育て支援	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 保育サービスの充実		
	<p>保護者から相談しやすい環境を整えるとともに、相談に対して保育所内だけでなく各関係機関に繋ぎ、今まで以上に連携して必要な支援に繋がります。また、配慮が必要な子どもの人数に合わせて保育士の加配を継続して実施し、より細やかな保育を実施できるよう努めます。</p> <p>また、令和4年度に保育所のICT化を推進します。これまで電話や対面で相談を受けていましたが、保護者の携帯電話等を利用して気軽に相談できる体制を整えます。</p> <p>預かり保育事業については、後期基本計画より位置づけを変更して本シートに記載します。事業については、令和3年度に規則改正を行い、利用希望者全ての受入を実現しておりますので、新型コロナウイルス感染対策を徹底して現状のまま継続します。</p>			
	指標（予定）	KPI	預かり保育の延べ利用者数（年間）	1,000人
		—		
—				
—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	●事業の分析（評価の根拠・理由）													
	つどいの広場等は、県内の新型コロナウイルスの新規感染状況に応じて人数制限を設け20～30人で実施しました。換気と消毒等の感染予防を行いながらの実施となりました。就学前の親子が対象ですが就園前のお子さんが増加しています。コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流できる場を提供することができ、概ね目標の成果が得られたと考えます。													
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R03	326	305	353	283	172	334	405	360	341	332	220	272	3,703
R02	0	0	233	205	144	233	236	250	235	258	354	312	2,460	
R01	395	339	315	395	302	441	381	421	318	366	341	0	4,014	
H30	322	257	320	387	425	370	343	359	276	264	400	426	4,149	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない										
	評価の根拠及び理由													
	事業の取組については一定の評価を得ているものと判断しています。社会環境の変化等により子育て支援のニーズは増加する傾向にあると考えます。													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 子育てに対する不安感の軽減を図るため、子どもの成長に応じたスタッフの対応を検討します。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり			
		基本施策	④ 子育て支援			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 子育て環境の充実				
	指標（予定）	KPI	情報交換拠点（つどいの広場・おひさま広場）の利用者満足度		80%	
		—				
—						
—						



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>つどいの広場等は、県内の新型コロナウイルスの新規感染状況に応じて人数制限を設け20～30人で実施しました。換気と消毒等の感染予防を行いながらの実施となりました。就学前の親子が対象ですが就園前のお子さんが増加しています。コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流できる場を提供することができ、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p> <p>上牧幼稚園における預かり保育は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度に引き続き利用者は減少しておりますが、手指消毒や定期的な換気等、感染予防対策を徹底して事業を行いました。</p> <p>預かり保育を希望する保護者全員の希望に応えることができたため、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>事業の取組については一定の評価を得ているものと判断しています。社会環境の変化等により子育て支援のニーズは増加する傾向にあると考えます。</p> <p>預かり保育事業は保育所入所児童数の増加からも、今後の保育ニーズは増加すると考えられますが、同時に上牧幼稚園入園児童数が減少しているため、預かり保育の利用数は現状と同程度で推移するものと考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>つどいの広場等は、少子化や働く母親が増加しており利用者の低年齢化傾向のため、使用のおもちゃ等の見直しやスタッフと子どもとの関わり方を検討する必要があります。</p> <p>預かり保育事業は利用希望者を全員受け入れられるよう、令和3年度より規則の改正を行い、預かり保育の利用定員を撤廃しました。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 子育てに対する不安感の軽減を図るため、子どもの成長に応じたスタッフの対応を検討します。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉一とものに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー	
		基本施策	④ 子育て支援	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 子育て環境の充実		
	指標（予定）	KPI	情報交換拠点（つどいの広場・おひさま広場）の利用者満足度	80%
		KPI		
—				
—				





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
	<p>○第6期障がい福祉計画（令和3年度から令和5年度）に基づくサービス提供体制 障がい福祉サービス、障がい児通所支援サービス、相談支援事業及び地域生活支援事業の支援体制について、過年度の実績をもとに課内及び西和7町行政間で検証を行いました。令和2年度からサービス提供体制の要となる計画相談員が地域で不足している現状をふまえ、相談員の人材確保や相談技術の質の向上を図る目的として、西和7町共同で地域の計画相談員スキルアップ勉強会を開催しており、今年度は計25名の相談員の参加がありました。（オンラインによる実施） また、令和3年度に福祉施設から一般就労へ移行した障がい者は3名となりました。</p> <p>○庁内連絡会議への参画 高齢・障がい・こども部局及び社会福祉協議会の担当で構成される庁内連絡会議（2回）に参画し、制度の狭間や、部局間の協働が必要となる困難ケースへの対応について協議を行い、支援方策の検討や共有を図りました。</p>																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																			
【計画相談員向けのスキルアップ勉強会参加人数】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神障がい者への相談支援</td> <td>18人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>身体・知的障がい者への相談支援</td> <td>15人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>					テーマ	R02	R03	精神障がい者への相談支援	18人	12人	身体・知的障がい者への相談支援	15人	13人						
テーマ	R02	R03																	
精神障がい者への相談支援	18人	12人																	
身体・知的障がい者への相談支援	15人	13人																	
【障がい福祉計画（平成30年度～令和3年度）の主な結果】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から地域生活への移行者数</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	R03	福祉施設から地域生活への移行者数	0人	1人	0人	0人	福祉施設から一般就労への移行者数	3人	5人	7人	3人
	H30	R01	R02	R03															
福祉施設から地域生活への移行者数	0人	1人	0人	0人															
福祉施設から一般就労への移行者数	3人	5人	7人	3人															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい児者福祉サービスは、手帳所持者数等の増加や障がいの重度化・高齢化に伴い、利用者数及び利用量ともに今後も増加していくことが見込まれ、特に伸びが著しいサービスとして、日中活動系サービスやグループホームが挙げられます。地域生活への移行促進が推進されている流れや、障がい者の家族も高齢化していることから親亡き後の支援体制へのニーズは今後ますます高まっていくことが予想されます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>地域に計画相談支援事業所が不足している現状があり、障がい種別を問わない計画相談員の確保及びさらなるスキルアップが必要ですが、実施した勉強会の参加人数が前年度より下がっています。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 地域の専門相談員向けスキルアップ勉強会を継続して実施していくとともに、より多くの参加者を募るため勉強会の回数やその内容について、西和7町行政間や委託相談支援事業所と十分な検証及び改善を図ります。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	⑤ 障害者（児）福祉		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向 ① 共生社会の実現に向けた障がい福祉の充実と障がい者の自立支援				
	第6期障がい福祉計画に基づき、サービス提供体制を確保に努めながら、PDCAサイクルのプロセスを念頭に福祉施設からの地域移行や一般就労への移行等の成果目標に関する検証・改善を行います。 （障がい福祉計画策定委員による検証委員会を実施） 西和7町共同実施で専門相談員向けスキルアップ勉強会の開催を継続します。 庁内連携や専門機関とのネットワーク強化のため、庁内連絡会議へ参画します。				
	指標（予定）	KPI	地域活動支援センター利用登録者数（年間）	10人	
		KPI	福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	15人	
		—			
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）											
	<p>○上牧町身体障害者協議会 社会見学（明日香）を行いました。</p> <p>○上牧町手をつなぐ育成会 障がいがある子をもつ保護者同士が日頃悩んでいることを気軽に相談し合う場である『おしゃべり塾』の開催を支援し、福祉課よりアドバイザーとして参画しました。（参加人数21人）</p> <p>○障害者週間の取組として、上牧町立図書館にて特設コーナーを設置し障がい福祉に関する書籍や関連パンフレット等の展示を行いました。</p> <p>○障がいを持つ児童やその保護者への就学に関する円滑な支援体制の共通理解を深めるため、障がいを主管する関係部局として教育委員会の教育支援委員会に参画しました。</p> <p>○心のバリアフリーに関する取り組みとして、精神障がいについての理解を深める第6回住民講座をオンラインで開催しました。 講師：ハートランドしづさん教育研修センター長 長徹二 氏 参加人数：37名 テーマ「ストレスの影響と対処法」</p>											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
【「おしゃべり塾」参加人数】												
<table border="1"> <tr> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>R02</td> <td>R03</td> </tr> <tr> <td>23人</td> <td>22人</td> <td>31人</td> <td>21人</td> </tr> </table>					H30	R01	R02	R03	23人	22人	31人	21人
H30	R01	R02	R03									
23人	22人	31人	21人									
【「障がい特性理解促進に係る住民講座」参加人数】												
<table border="1"> <tr> <td>R03</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>37人</td> <td>ストレスの影響と対処法</td> </tr> </table>					R03	内容	37人	ストレスの影響と対処法				
R03	内容											
37人	ストレスの影響と対処法											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>誰もがお互いに支え合い障壁のない地域づくりを推進していくため、「障害者差別解消法」「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」をふまえた障がい特性への理解啓発や合理的配慮促進に係る事業を継続して実施していく必要があります。</p>											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい児者数の増加に伴い、地域住民や町職員への障がい理解啓発に係る取組を強化していく必要があります。</p>											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>住民講座の参加者数を増やすための方策の検討や、コロナにより開催できなかった町職員向けの聴覚障がいや手話講座を開催します。</p>					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境				
		基本施策	⑤ バリアフリー				
<p>施策の展開方向 ② 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進</p>							
<p>令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）</p> <p>○上牧町身体障害者協議会、上牧町手をつなぐ育成会への助成を継続します。</p> <p>○前年度の検証を踏まえた障がい理解促進に係る住民向け講座（講演会）を実施します。（西和7町共同実施）</p> <p>○町職員向け聴覚障がいや手話に関する講座を実施します。</p>							
指標（予定）	KPI	手話養成講座受講者数（年間）				7人	
	KPI	ヘルプマーク配布数（累計）				180人	
	-						
	-						





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																												
	<p>地域活動支援センターは、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の方に、創作活動又は生産活動等の機会を提供し、地域生活の支援を行います。</p> <p>令和3年度に新規の利用者はいませんでした。利用者の内3人が県外転出、1人が就労継続支援B型へ通所への移行に繋がりました。</p> <p>令和3年度末時点の利用登録者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター「まーぶる」（斑鳩町） 6人</li> <li>・地域活動支援センター「なつつ」（大和高田市） 1人</li> <li>・地域活動支援センター「コスモールいこま」（生駒市） 1人</li> </ul> <p>新規の申請がなく、上牧町第6期障がい福祉計画の見込量である12人を下回っていますが、1人が就労系サービスに繋がっていることは一定の成果であると考えます。</p> <p>専門相談員のスキルアップ勉強会（2回開催）の中で地域活動支援センターの取組についての内容を盛り込み、利用促進に向けた意見交換を行いました。</p>																												
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																													
<p>【地域活動支援センター利用登録者数】 ※各年度末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まーぶる（斑鳩町）</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>なつつ（大和高田市）</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コスモールいこま（生駒市）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	R03	まーぶる（斑鳩町）	10	10	10	6	なつつ（大和高田市）	0	1	1	1	コスモールいこま（生駒市）	0	0	1	1	合計	10	11	12	8
	H30	R01	R02	R03																									
まーぶる（斑鳩町）	10	10	10	6																									
なつつ（大和高田市）	0	1	1	1																									
コスモールいこま（生駒市）	0	0	1	1																									
合計	10	11	12	8																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>近年の精神障がい者手帳所持者数の増加や、引きこもり問題を勘案すると、当事者同士で交流する日中活動の場として地域活動支援センターのニーズは高いと考えられます。</p>																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>日中活動の場としての地域活動支援センターは、当事者の社会参加の中心課題である就労への足掛かりとなる役割があります。今後も当事者やその家族がもつ細かなニーズを汲み取り、解決に向けた手段として、地域生活支援センターの利用につなげることも想定しながら相談支援を行います。</p>																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 地域活動支援センターの事業所や計画相談員とも共有を図りながら、必要な方を円滑に通所利用に繋がられるよう連携強化に努めます。計画相談員向けの勉強会等を実施する際、センターの利用促進に係る周知を積極的に行います。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり		
		基本施策	⑤ 障害者（児）福祉		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 共生社会の実現に向けた障がい福祉の充実と障がい者の自立支援			
	指標（予定）	KPI	地域活動支援センター利用登録者数（年間）	10人	
		KPI	福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	24人	
		-			
-					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
	<p>○令和3年度の手話通訳者の派遣回数は月間平均10件(延べ124件・実人数10人)で、第5期障がい福祉計画の見込み量である月間平均11件を下回りました。</p> <p>○要約筆記者の派遣はありませんでした。</p> <p>○手話養成講座は入門編・基礎編を2か年のサイクルで実施しており、令和3年度は基礎編を開講し、昨年と同数の6名が受講されました。</p> <p>○奈良県が平成25年より取り組んでいる障がいの有無にかかわらず誰もが暮らしやすい共生社会を実現するための運動である『まほろばあいサポート運動』を推進するため、障害者週間の期間中に町立図書館にて障がい理解促進パンフレット『シルコトカラ』の配布や、障がい理解に係る書籍や、内部障がいや精神疾患等により周囲に配慮を必要としていることを知らせる『ヘルプマーク』の展示を行いました。ヘルプマークについては計20人の申請がありました。</p> <p>○7月から開始した手話通訳者設置事業について、月間平均11人（延べ89人・実人数7人）の実績となり、主に生活相談や代理電話、福祉サービスの利用に係る相談等の利用がありました。</p> <p>○上牧町聴覚障害者協会からの要望により手話言語条例に関する勉強会を開催しました。奈良県障害福祉課からの講師を招き、当事者や上牧町手話サークルの代表等に参加していただきました。（内容 奈良県手話言語条例について 参加人数：15人）</p>																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																			
【手話通訳者の派遣回数（回）】		【ヘルプマーク申請者数（人）】																	
<table border="1"> <tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr> <tr><td>156</td><td>89</td><td>124</td></tr> </table>		R1	R2	R3	156	89	124	<table border="1"> <tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr> <tr><td>49</td><td>33</td><td>20</td></tr> </table>			R1	R2	R3	49	33	20			
R1	R2	R3																	
156	89	124																	
R1	R2	R3																	
49	33	20																	
【手話養成講座受講者数（人）】		【手話通訳者窓口利用者数（人）（R3.7月～R4.2月）】																	
<table border="1"> <tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr> <tr><td>(基礎編)</td><td>(入門編)</td><td>(基礎編)</td></tr> <tr><td>7</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table>		R1	R2	R3	(基礎編)	(入門編)	(基礎編)	7	6	6	<table border="1"> <tr><th>月間平均人数</th><th>延べ人数</th><th>実人数</th></tr> <tr><td>11</td><td>89</td><td>7</td></tr> </table>			月間平均人数	延べ人数	実人数	11	89	7
R1	R2	R3																	
(基礎編)	(入門編)	(基礎編)																	
7	6	6																	
月間平均人数	延べ人数	実人数																	
11	89	7																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「奈良県手話言語条例」（平成29年4月施行）や「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」（平成28年4月施行）、「まほろばあいサポート運動」等の周知により、障がい者の増加に伴う合理的配慮推進の動きはますます高まっていくと考えられます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>手話養成講座を修了した方は、その後手話サークルに参加されることが多く、緊急時の利用が見込める上牧町独自の手話通訳者派遣事業を実現するためには、手話サークルからのさらなるステップアップを図るための仕組みづくりが望まれます。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 社会福祉協議会や上牧町聴覚障害者協会との連携体制を継続し、手話養成講座受講者を増やしていくための施策や、講座修了者へのさらなるステップアップに向けた手法の検討を行います。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境		
		基本施策	⑤ バリアフリー		
		施策の展開方向 ② 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<input type="checkbox"/> 手話通訳者・要約筆記者派遣事業を継続します。 <input type="checkbox"/> 手話養成講座(入門編)を開講します。 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会や上牧町聴覚障害者協会との連携体制を継続し、上牧町在住の手話通訳者確保に向けた取組の検討を行います。 <input type="checkbox"/> 上牧町手話言語条例の制定を見据えた勉強会を継続します。				
	指標(予定)	KPI	手話養成講座受講者数（年間）	7人	
		KPI	ヘルプマーク配布数（累計）	180人	
		独自	手話通訳者窓口利用者数（年間）	145人	
	—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）												
	<p>○「令和3年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修」は新型コロナウイルス感染拡大の状況により開催が中止となりましたが、過去の研修資料を活用し、虐待に関する知識や対応手順等を課内で共有しました。</p> <p>○上牧町が障がい者虐待に認定した事案や、事業所等からの通報等は発生しませんが、障がい者自身が家族に危害を加えるといった事例に関する相談が増えており、ネグレクト等に繋がる懸念もあることから福祉課・生き活き対策課・医療機関等関係各所と連携しながら対応を継続しています。</p> <p>○西和7町障害者等支援協議会における障がい者差別や虐待防止に取り組む「人権施策部会」では、合理的配慮の事例集作成のため関係機関にアンケート調査等を実施しました。</p> <p>○障がい者の親亡き後を見据えた地域の体制づくりを目指す地域生活支援拠点の整備（緊急一時保護事業）について、西和7町担当者会議の中で令和5年度末までの設置に向けて協議を進めました。</p>												
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある									
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
	<p>【上牧町障がい者虐待認定件数(件)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R01	R02	R03	1	1	0	0
H29	H30	R01	R02	R03									
1	1	0	0	0									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない									
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
	<p>●事業の分析（根拠及び理由）</p> <p>障がい者手帳所持者の増加や、障がい者差別・虐待がより広く周知されていくとともに、相談や通報も今後ますます増えていくことが予想されます。関係機関とのより強固な連携や広域ネットワークの強化が必要です。</p>												
●事業の分析（根拠及び理由）													
<p>障がい者虐待が周知されるとともに、虐待事案の相談・通報は今後も発生していくことが予想されますが、被虐待者を一時的に保護する1つの手段である短期入所等を行う事業所が地域で不足している現状があります。</p>													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 被虐待者である障がい者等を一時保護するための施策として、西和7町圏域で実施を検討している「地域生活支援拠点」の整備に係る協議を進め、一時保護施設等の確保に向け緊急一時保護事業の整備を進めていきます。					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり				
		基本施策	⑤ 障害者（児）福祉				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 障がい者虐待の防止と権利擁護の推進					
	○令和4年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修へ参加します。 ○奈良県障害者相談窓口等との連携を継続します。 ○人権施策部会における障がい者虐待防止や権利擁護に係る協議を継続します。 ○地域生活支援拠点の整備（緊急一時保護事業）に係る協議を継続します。						
	指標（予定）	KPI	西和7町障害者等支援協議会人権施策部会当事者向け勉強会の参加者数（年間）	40人			
		-					
		-					
		-					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																											
	<p>○学校における福祉教育                  ≪各校への聞き取りによる≫                  新型コロナウイルスの影響により、以前は実施していた福祉施設等への見学は見合わせている状況です。上牧第3小学校では、社会福祉協議会及び民生児童委員協力のもと、車イス体験や視覚障がい体験を行いました。上牧第二中学校では外部講師を招いてのLGBTQ理解促進に係る講演を行いました。</p> <p>○小地域ネットワーク活動をしている地区数は、前年度と同数の14地区となり、毎月1回開催される連絡会議にて各地区の活動内容等の情報共有を行いました。各地区のサロン活動については、コロナ禍により人数の制限や内容を工夫しながら実施し、その活動内容を社会福祉協議会のHPやSNS等で紹介しています。</p> <p>（主な活動）手芸サロン、認知症予防ゲーム、季節の行事、ラジオ体操、ハイキング、ヨガ教室 等</p> <p>○上牧町ボランティア連絡協議会の加入者数は、令和3年度末現在で313人となり、目標値である366人には達していませんが、最終目標値の270人は上回っています。偶数月に開催される定例会にて各団体の活動内容を共有しました。</p> <p>○かまきタウンカレッジについては、令和2年度コロナ禍により未実施でしたが、令和3年度は10回開催し、延べ203名が参加されました。</p> <p>（主な内容）フラワーアレンジメント、大人のマナー講座、水彩画ワークショップ、上牧パワースポット巡り 等</p> <p>○地域住民協力のもと支援が必要と考えられる人に気づき発見する機能の強化を図るため、各地区で「気になる会議」を開催する取組を進めています。令和3年度は、自治連合会、民生児童委員協議会、小地域ネットワークとの意見交換会や、片岡台3丁目自治会へ説明会等を実施し、早期実現に向けて、庁内連絡会議とも連携しながら次年度も引き続き取り組みます。</p> <p>○ふるさと納税を活用して役場及び2000年会館に設置している車いすを8台から13台に増設し、通院や在宅生活で車いすが必要な方にも無料貸出を行いました。</p>																											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																												
【小地域ネットワークの状況】																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小地域ネットワークの組織化（カ所） （組織化率）</td> <td>13 (54%)</td> <td>14 (58%)</td> <td>14 (58%)</td> <td>14 (58%)</td> <td>14 (58%)</td> </tr> <tr> <td>連絡会の開催（回）</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>住民座談会の開催（回）</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	R03	小地域ネットワークの組織化（カ所） （組織化率）	13 (54%)	14 (58%)	14 (58%)	14 (58%)	14 (58%)	連絡会の開催（回）	12	12	12	10	12	住民座談会の開催（回）	1	2	0	2	0
	H29	H30	R01	R02	R03																							
小地域ネットワークの組織化（カ所） （組織化率）	13 (54%)	14 (58%)	14 (58%)	14 (58%)	14 (58%)																							
連絡会の開催（回）	12	12	12	10	12																							
住民座談会の開催（回）	1	2	0	2	0																							
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	評価の根拠及び理由 少子高齢化や虐待、孤独死、生活困窮といった地域における問題も年々複合化・複雑化していることから、地域住民同士のつながりや地域住民・行政・社会福祉協議会の連携体制の構築が強く求められています。																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																								
	評価の根拠及び理由 紙媒体での情報発信は若い世代に届かないことが多く、既存の地域の活動をより理解しやすく周知するため、情報発信の手法を検討する必要があると考えます。																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 幅広い世代に広く地域の活動を情報発信していくため、取組内容やイベントについての動画配信等によるSNSを活用した取組について、各団体と協働しながら検討していきます。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—	
		基本施策	⑥ 地域福祉	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり		
	○地域で支えあう意識づくりとして、学校における福祉教育や人権教育を推進します。また、地域団体間の交流促進の支援や活動拠点の整備・提供により、小地域ネットワークや上牧町ボランティア連絡協議会等が、地域のボランティア活動をしやすい環境づくりを推進します。また、若い世代の参画を促進させていくため各団体の活動内容の情報発信強化に取り組みます。			
	指標（予定）	KPI	上牧町地域見守りネットワーク事業登録事業所数	15か所
		—		
		—		



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	●事業の分析（評価の根拠・理由）					
	○地域福祉計画及び地域福祉活動計画では、3つの基本目標に基づき各取り組みについて関連指標を掲げています。令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響化ではありましたが、7つの指標について基準値から増加している状況です。 ○市内連絡会議の開催（2回） 包括的な相談支援体制の強化していくため、福祉課、生き活き対策課、こども未来課、社会福祉協議会が事務担当者が集まり、重層的支援体制整備事業や制度間をまたがる困難ケースの情報共有や意見交換を行いました。 ○各地区で「気になる会議」を開催する取り組みを進めています。令和3年度は、自治連合会、民生児童委員協議会、小地域ネットワークとの意見交換会や、片岡台3丁目自治会へ説明会等を実施し、早期実現に向けて、市内連絡会議とも連携しながら次年度も引き続き取り組みます。					
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。					
	基本目標	関連指標	R01 基準値	R03 実績値	計画値	担当課
	地域で顔の見える関係づくり	ヒューマンライツセミナーの参加者数（人）	92	141	100	R07 社会教育課
		認知症サポーター養成講座の開催（回）	8	2	10	R07 生き活き対策課
		「まきっ子塾」学習アドバイザー登録人数（人）【累計】	63	58	増加	R07 社会教育課
		ニュースポーツ人口（人）	725	160	増加	R07 社会教育課
		配食見守り支援事業総配食数（食）	3,400	3,145	3900	R05 生き活き対策課
		緊急通報見守り支援事業利用者数（人）	137	169	190	R05 生き活き対策課
		高齢者見守りネットワーク事業登録者数（人）【累計】	13	25	23	R05 生き活き対策課
		上牧町地域見守りネットワーク事業登録事業所数（か所）【累計】	—	11	23	R07 福祉課
		子ども110番の家の設置箇所数（か所）【累計】	325	341	330	R07 教育総務課
		防犯カメラの設置台数（台）【累計】	24	30	36	R08 総務課
	だれもが地域に参加できる仕組みづくり	ジュニアリーダー研修の参加人数（人）	21	27	30	R07 社会教育課
		生活支援サポーターの人数（人）【累計】	30	23	52	R05 生き活き対策課
		傾聴ボランティアの人数（人）【累計】	37	20	42	R05 生き活き対策課
		手話養成講座の受講者数（人）	7	6	15	R07 福祉課
		すこやかサポーターの人数（人）【累計】	26	26	30	R07 生き活き対策課
	住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり	シルバークラブ会員数（人）【累計】	1,565	1,459	1900	R08 福祉課
		上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請数（件）	3	5	7	R08 企画財政課
		ケアマネジャー連絡会の開催回数（回）	5	5	6	R07 生き活き対策課
		障がい計画相談員との勉強会の開催回数（回）	—	2	3	R07 福祉課
		保健・医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数（回）	—	1	3	R07 福祉課
		地域福祉市内連絡会議の開催回数（回）	—	2	6	R07 福祉課
		子育て世代包括支援センター連絡調整会議の開催回数（回）	—	5	12	R07 こども未来課
		災害時における連携協定数（件）【累計】	40	41	増加	R07 総務課
		防災士資格取得支援事業による資格取得者数（人）【累計】	114	117	245	R08 総務課
		権利擁護支援センターにおける相談実人数（人）	6	3	12	R07 福祉課
	事業の見直し余地（改善点）	成年後見制度利用支援 町長申立件数（件）	1	0	—	R08 生き活き対策課
		要保護児童対策地域協議会実務者会議の実施回数（回）	3	3	3	R07 こども未来課
		評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある	
ニーズの方向性	評価の根拠及び理由	「気になる会議」について地域に働きかけを行っていますが開催には至っていません。障がい、高齢、こども部局及び社会福祉協議会等との市内連絡会議を通じて、情報共有を行いながら連携体制を構築していますが、課題やケースによってはより専門的な知見が必要な場合もあり、今後外部からの専門機関の参画も必要になってくると考えられます。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「気になる会議」開催の働きかけを行いながら、まずは民生委員や自治会役員、小地域ネットワークの活動者等による規模を縮小した形での開催も見据えて検討していきます。 定期的な市内連絡会議の開催を継続して実施しながら、必要に応じて、広く市内関係部署や外部の専門機関に参画していただきながら連携体制の強化を進めます。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—			
		基本施策	⑥ 地域福祉			
		施策の展開方向	① 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		○自治会単位で暮らしの困りごとや地域課題について、住民や地域の福祉関係者、専門職などと一緒を考え共有する場である「気になる会議」の開催を支援し、地域で互いに助け合う意識づくりを育むだけでなく、住民や団体間の交流促進を目指します。 ○上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画に基づき、社会福祉協議会と協働しながら地域福祉を充実させる取組を進めます。				
	指標（予定）	—				





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																		
	<p>「審議会等への女性委員登用率」については、30.7%であり、目標値である35.0%を下回っています。                  また、子育てママ就業支援事業については、予定通り継続できていますが、令和3年度の事業拠点における年間延べ雇用者数は45名（対前年比+19名）となっており、目標人数の50人には届きませんでした。新型コロナウイルス関連の受注等もあり、昨年度より大幅に雇用が増えました。</p>																																		
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																															
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																		
	<p>【「審議会等への女性委員登用率」及び「上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合」】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会等への女性委員登用率（%）</td> <td>32.9</td> <td>25.0</td> <td>33.5</td> <td>30.5</td> <td>30.5</td> <td>30.7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）</td> <td>24.4</td> <td>26.6</td> <td>30.3</td> <td>39.3</td> <td>39.0</td> <td>39.5</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）</td> <td>42.1</td> <td>42.4</td> <td>42.0</td> <td>44.1</td> <td>43.1</td> <td>43.1</td> <td>44.9</td> </tr> </tbody> </table>					H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	審議会等への女性委員登用率（%）	32.9	25.0	33.5	30.5	30.5	30.7	—	上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）	24.4	26.6	30.3	39.3	39.0	39.5	39.5	【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）	42.1	42.4	42.0	44.1	43.1	43.1
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03																												
審議会等への女性委員登用率（%）	32.9	25.0	33.5	30.5	30.5	30.7	—																												
上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）	24.4	26.6	30.3	39.3	39.0	39.5	39.5																												
【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）	42.1	42.4	42.0	44.1	43.1	43.1	44.9																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																															
	●事業の分析（根拠及び理由）																																		
	<p>男女共同参画社会を実現することは、安心と喜びを持って子どもを産み育てることのできる社会の実現につながるものであり、解決すべき課題となっている人口減少、少子化対策にも有効であると考えられ、その取組として、行政への参画機会の創出や就業の場の整備・確保といった取組に対するニーズは増加してくるものと考えます。</p>																																		
<p>子育てママ就業支援事業については、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも必要であると考えますが、先駆的な取組であり、調査・研究にある程度時間を要すると考えます。</p>																																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>女性が自己実現に向けて希望を叶えることのできるまちとして、女性の参画機会の創出や社会復帰に向けた支援については、現在の取組に加え、参画機会の拡大に向けた事例の研究や地域関係者との連携機会を設けるなど、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。</p>					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—				
		基本施策	③ 労働環境				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 子育てママの社会復帰・キャリアアップの推進					
	<p>「上牧町子育てママ就業支援事業」について、引き続き、民間事業者と連携し、事業拠点の運営を継続していく予定です。また、経過を観察しながら、住民ニーズを把握し、事業を通じて子育て環境の充実に努めていきます。</p>						
	指標（予定）	KPI	子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）			50人	
		KPI	子育てママ就業支援施設稼働率（年間）			60%	
		—					
—							



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>男女共同参画週間において、上牧町では6月23日から6月28日の期間中、上牧町立図書館の一角を利用して関係ポスターや図書を展示することにより、男女共同参画の理念について理解を深める啓発活動を行うことができました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、男女共同参画に関する冊子やパンフレット等の配布を取りやめるなど例年より規模を縮小して実施しました。</p> <p>また、ペガサスフェスタにおいて、人権啓発コーナーの一角を利用したチラシ等での啓発活動と、国の女性就業支援全国展開事業を利用したセミナーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p> <p>その他、法務局が実施している、職場でのセクハラ、ストーカー行為等の女性の人権に関わる問題全般についての相談を行う全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間について広報誌に掲載したほか、国が実施している、性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」についてLINEやFacebookにて広報するなど、コロナ禍で啓発活動が制限される中でも、SNS等も活用しながら啓発活動に努めました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
<p>令和4年度県内市町村の男女共同参画推進状況（令和4年4月26日付 女活第20号）から抜粋          地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等における女性委員の比率（令和3年度 令和4年3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上牧町：30.4%（前年度比0.3%減） 県内市町村平均：25.7%（前年度比2.6%増）</li> </ul> <p>市町村の女性公務員の状況（令和3年度 令和3年4月1日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職（部局長・次長・課長相当職）の女性比率             <ul style="list-style-type: none"> <li>上牧町：8.7%（前年度比5.6%減） 県内市町村平均：22.1%（前年度比0.7%増）</li> </ul> </li> <li>・課長補佐相当職の女性比率             <ul style="list-style-type: none"> <li>上牧町：58.6%（前年度比6.7%増） 県内市町村平均：35.8%（前年度比0.2%増）</li> </ul> </li> <li>・係長相当職の女性比率             <ul style="list-style-type: none"> <li>上牧町：48.3%（前年度比2.8%増） 県内市町村平均：35.7%（前年度比0.6%減）</li> </ul> </li> </ul>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>女性の社会進出が進むことに伴い、様々な女性に関する人権問題が発生しており、内閣府の世論調査（令和元年9月調査）でも「社会全体における男女の地位の平等感」という質問に対して、約78%の女性が「男性の方が優遇されている」と考えています。</p> <p>これらの現状や、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されていることもあり、男女共同参画社会の形成に対するニーズは高まってきています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>このように男女の平等が求められていることから、現状のニーズに沿った啓発活動を行う必要があり、実施する場合も、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を計画する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 必要に応じて実施場所・期間の拡大、図書や冊子の展示以外の啓発方法の検討、現状のニーズに沿った内容の講座やセミナーの実施等を行います。 具体的には広報やデジタルサイネージを使った啓発活動やのぼり旗の設置、男女共同参画に関するパネル展示等を考えています。 また、実施する場合は、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくりー		
		基本施策	⑦ 男女共同参画		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 男女共同参画についての理解の促進			
	指標（予定）	KPI	男女共同参画に関する講座・セミナー等の実施回数（年間）	2回	
		—			
—					
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>男女共同参画週間において、上牧町では6月23日から6月28日の期間中、上牧町立図書館の一角を利用して関係ポスターや図書を展示することにより、男女共同参画の理念について理解を深める啓発活動を行うことができました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、男女共同参画に関する冊子やパンフレット等の配布を取りやめるなど、例年より規模を縮小して実施しました。</p> <p>また、ベガスフェスタにて、人権啓発コーナーの一角を利用したチラシ等での啓発活動と国の女性就業支援全国展開事業を利用したセミナーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p> <p>その他、法務局が実施している、配偶者やパートナーからのDV等の女性の権利に関わる問題全般についての相談を行う全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間について広報誌に掲載したほか、国が実施している、性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」についてLINEやFacebookにて広報するなど、コロナ禍で啓発活動が制限される中でも、SNS等も活用しながら啓発活動に努めました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>女性の社会進出が進んでいるにも関わらず、内閣府の世論調査（令和元年9月調査）では約40%の男性が「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と考えており、男性が家事をする時間は世界的にもかなり低い水準です。</p> <p>さらに配偶者やパートナーからのDVに関しては、全国の配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は年々増え続けて、令和元年度時点でも年間約12万件（前年度比約5,000件増）を超えており、その上、令和2年度はコロナ禍の影響によるストレス・生活不安から、4～11月時点での集計だけでも相談件数は13万件を超えているとの報告があります。</p> <p>これらの現状や、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されていることもあり、男女共同参画社会の形成に対するニーズは高まってきています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>このように男女の平等が求められていることから、現状のニーズに沿った啓発活動を行う必要があり、実施する場合も、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を計画する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 必要に応じて実施場所・期間の拡大、図書や冊子の展示以外の啓発方法の検討、現状のニーズに沿った内容の講座やセミナーの実施等を行います。 具体的には広報やデジタルサイネージを使った啓発活動やのぼり旗の設置、男女共同参画に関するパネル展示などを考えています。 また、実施する場合は、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり		
		基本施策	⑦ 男女共同参画		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 男女共同参画についての理解の促進			
	指標（予定）	KPI	男女共同参画に関する講座・セミナー等の実施回数（年間）	2回	
		—			
—					
—					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>前年度に引き続き、県が作成した男女共同参画策定マニュアルや、他の奈良県内の男女共同参画計画をもとに、当町の現状や課題分析をするために必要なデータ、そのデータで判明した課題への対応等の情報を得るために、各市町村の計画書の精査を行いました。また、上牧町と王寺町と三郷町で複数回にわたり男女共同参画計画策定の打ち合わせを行い、男女共同参画に関する理解を深めるとともに、人口規模が似ている自治体が共同で策定を行うことのメリットなどについても話し合いました。</p> <p>一方、県女性センターが主催する研修や、女性の権利に関する人権問題の研修等に業務担当外の職員も参加する予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修等が中止となりました。</p> <p>感染症対策を行いながら実施されたいくつかの研修には参加したほか、オンラインで開催された女性の権利に関する研修を課員で閲覧するなど、コロナ禍で研修等の機会が少なくなる中でも、職員の男女共同参画に対する理解を深めました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されています。上牧町でも、男女が共に様々な役割に参加し、一人ひとりが豊かな人生となるよう男女共同参画社会の実現に向け、啓発活動をさらに強化していく必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>引き続き、県が作成した男女共同参画策定マニュアルや他の奈良県内の男女共同参画計画をもとに、計画策定に必要な情報の収集、分析を行うことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画書の作成方法の検討等を行います。</p> <p>研修等については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員の意識向上のために、業務担当者のみならず、業務担当外の職員も引き続き参加できるよう対応します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和5年度の計画策定に向けて、計画策定に必要な情報の収集、分析を行うことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画書の作成方法の検討等を行います。 研修等については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員の意識向上のために、業務担当者のみならず、業務担当外の職員も引き続き参加できるよう対応するほか、今後は役場職員全体が参加する職員研修等についても検討します。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉—とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—			
		基本施策	⑦ 男女共同参画			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 誰もが参画しやすく安心して暮らせる地域づくりの推進				
	指標（予定）	KPI	審議会等への女性委員登用率			32%
		KPI	男女共同参画計画の策定進捗率			20%
		—				
		—				
—						



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>差別をなくす強調月間の取組として、7月9日（金）ペガサスホールで、上牧町民集会を開催しました。昨年、新型コロナウイルス感染症の関係で1年間延期となり、今年度は大ホールで人数制限と感染予防等の対策をして実施しました。</p> <p>内容 「人生は、ドッキリ！ハッキリ！～ラジオから見える人とのつながり～」</p> <p>講師 三代澤康司さん（フリーアナウンサー・元朝日放送アナウンサー）</p> <p>三代澤さんは「コロナ禍の中で人のつながりが絶たれることによって、差別や偏見が生まれてきます。」と述べられ、ご自身の様々な経験やラジオ番組を通じた人とのつながりの大切さ、差別のことやバリアフリーについて語られました。</p> <p>参加者 172名 アンケート調査での満足度は90.9%となりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>平成28年度人権三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、本町でも、令和3年9月に「上牧町あらゆる差別の解消の推進に関する条例」が施行されました。人権に関係した条例等、法整備が年々進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増してきたと考えられます。インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」等に加えて、近年は「コロナ差別」も大きな社会問題となってきており、それに対応した取組や組織づくりが求められています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民集会については、新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、広い会場を確保したり、開催条件を工夫するなどして実施の方向を検討する必要があります。また、インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動の問題については、情報収集を積極的に行うことや研修の機会を求めていく必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>町民集会は、2000年会館からペガサスホールに会場を変更する、人数制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全に行い計画します。</p> <p>「差別書き込みに対応するインターネットステーションの取組」の見識を深めたり、県の組織と連携したりするなどの取組を充実させたいと考えています。</p>				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり			
		基本施策	⑧ 人権啓発・平和			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 鋭い人権感覚の醸成				
	指標（予定）	KPI	差別をなくす強調月間・上牧町民集会の新規参加者数（累計）		10人	
		—				
		—				
		—				
		—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 町内各小・中学校の児童に、人権ポスター・人権標語の作成を依頼することにより、子ども一人ひとりが人権問題について考えるきっかけになったと考えます。また、提出されたポスターは町民への啓発活動として7月の差別をなくす強調月間中に中央公民館へ展示しました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 学校現場における人権侵害であるいじめや不登校等の問題についても、日々メディアで取り上げられています。また、「コロナ差別」やSNS上の誹謗中傷等、新しい人権侵害の課題も大きな社会問題となってきていることから、ニーズが増加していると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
評価の根拠及び理由 募集要項、募集時期が2年連続で変更になった（新型コロナウイルス感染症の影響）のために、各校での取組時期や提出時期等を調整する必要があります。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 作品募集は、奈良県から募集要項が出される8月に合わせて、各校へ依頼をします。取り組む時期は各校の実情に合わせて、決定してもらうこととし、町での締切は6月初旬としたいと思います。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	⑧ 人権啓発・平和		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 鋭い人権感覚の醸成			
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
—					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）												
	報道各社の宣伝及びPRにより、13日間の開催でのべ445人が来場し、過去最高の来場者数となりました。アンケートには、60歳代から80歳代の来場者から「これからも続けてほしい」「この時期が待ち遠しい」などの意見が多数ありました。												
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
	<table border="1"> <caption>来場者数（推定）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>440</td> </tr> </tbody> </table>				年度	来場者数	平成30年度	180	令和元年度	280	令和2年度	260	令和3年度
年度	来場者数												
平成30年度	180												
令和元年度	280												
令和2年度	260												
令和3年度	440												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある									
	評価の根拠及び理由 どんなに時代が新しくなっても、この歳月は戦争を忘れる歳月であってはなりません。戦争を風化させないという気持ちと平和を手放さないために、戦争の悲惨さ、命の尊さを次代へ語り継ぎ意識を高め、継続することが大切であると考えます。												
事業の見直し余地（改善点）	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施												
	評価の根拠及び理由 次代、若者への継承を趣旨としていることから、子どもたちへの周知を強化します。												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 次代、若者への継承を趣旨としていることから、教育委員会との連携により児童や生徒への周知を行います。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—		
		基本施策	⑧ 人権啓発・平和		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 平和に対する意識啓発の推進			
	令和4年度は、「もう…あの悲涙は流すまい～学童疎開船 対馬丸～」という内容で実施します。太平洋戦における敗戦色も濃くなった昭和19年、沖縄の子どもたちは、九州本土に疎開を余儀なくされました。8月21日夕刻、那覇港を出港した疎開船「対馬丸」は翌22日夜、悪石島沖で米潜水艦によって魚雷攻撃を受け、午後10時23分頃撃沈、多くの学童らが犠牲となりました。これらの史実を沖縄・対馬丸記念館の協力を得て、写真資料約20点を展示します。 また、対馬丸撃沈の資料等をもとに対馬丸記念館の協力を得て朗読劇を上演します。イベントの周知については、報道機関による後援や広報紙、ホームページで行います。				
	KPI	平和祈念資料展の来場者数（年間）		450人	
	—				